
柏原市学校施設長寿命化計画（案）

令和3年（2021年）3月

柏 原 市

<目 次>

1 章	学校施設長寿命化計画の背景と目的	1
1	背景と目的	1
2	計画の対象施設	1
3	計画の期間	3
4	計画の位置づけ	3
2 章	学校施設の目指すべき姿	4
1	学校施設に関係する上位計画及び関連計画	4
2	学校施設の目指すべき姿	6
3 章	学校施設の現状	8
1	学校施設の概要	8
2	児童数及び学級数の変化	24
3	学校施設の配置状況	25
4	学校施設の建築年別整備状況	26
5	学校施設の耐震化の状況	26
6	施設関連経費の推移	27
7	今後の維持・更新コスト（従来型）	28
4 章	学校施設の劣化等の状況	29
1	構造躯体の健全性の把握	29
2	劣化状況の調査・評価	30
3	調査及び評価の結果	33
5 章	学校施設整備の基本方針	51
1	学校施設の適正規模・適正配置の方針	51
2	改修等の基本的な方針	52
6 章	基本方針を踏まえた施設整備の水準等	54
1	改修等の整備水準	54
2	維持管理の項目・手法等	55
7 章	長寿命化の実施計画	57
1	今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	57
2	改修等の優先順位づけと実施計画	58
8 章	長寿命化計画の継続的運用指針	60
1	情報基盤の整備と活用	60
2	推進体制等の整備	60
3	フォローアップ	60

1 章 学校施設長寿命化計画の背景と目的

1 背景と目的

柏原市（以下、「本市」という。）では、小学校 10 校、中学校 6 校を有しており、公共施設の中でも学校は延床面積が最も多い施設となっています。また、小学校は全体的に建築から年数の経った建物が多く、平成期に建築された堅上小学校と国分東小学校以外は建築後 35 年～50 年を経過しています。中学校についても平成期に建築された堅上中学校以外の施設は建築後 30 年以上経過しています。

今後、これらの学校施設が一斉に改修や更新の時期を迎え、財政負担のさらなる増加が想定されることから、施設の適切な保全や長寿命化対策等を実施することにより、ライフサイクルコストの縮減と財政負担の平準化を図ることが必要です。

こうした中、本市では 2017（平成 29）年 3 月に柏原市公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）を策定しています。総合管理計画は、公共施設等の最適化をより進めていくために、個別の検討だけではなく、公共施設等の全体を把握し、施設の再編も踏まえた長期的な視点に立つ公共施設等に関するマネジメント方針を策定することとなっています。

柏原市学校施設長寿命化計画（以下、「本計画」という。）は、総合管理計画を踏まえた個別施設計画として、学校施設の適切な保全や長寿命化対策等を通じて、財政負担の軽減や平準化を図りつつ、安心・安全な学校教育環境を確保していくことを目的とします。

2 計画の対象施設

本計画では、下表に示す施設を対象とします。

<対象施設の一覧>

区分	名称	位置
小学校	柏原小学校	柏原市大正 1 丁目 9 番 53 号
	柏原東小学校	〃 大県 1 丁目 8 番 5 号
	堅上小学校	〃 雁多尾畑 5955 番地
	国分小学校	〃 国分本町 6 丁目 11 番 4 号
	国分東小学校	〃 国分東条町 3704 番地 1
	堅下小学校	〃 平野 2 丁目 1 番 5 号
	堅下北小学校	〃 法善寺 4 丁目 359 番地の 5
	堅下南小学校	〃 安堂町 710 番地
	玉手小学校	〃 円明町 1 番 1 号
	旭ヶ丘小学校	〃 旭ヶ丘 3 丁目 4896 番地
中学校	柏原中学校	〃 堂島町 1 番 28 号
	堅上中学校	〃 雁多尾畑 5905 番地
	国分中学校	〃 国分本町 7 丁目 1 番 20 号
	堅下北中学校	〃 平野 2 丁目 403 番地の 1
	堅下南中学校	〃 安堂町 878 番地
	玉手中学校	〃 玉手町 20 番 17 号

※国分東小学校については 2020（令和 2）年 4 月 1 日をもって閉校

＜小中学校通学区域＞

中学校区	小学校区	通学区域
柏原	柏原	本郷 1～5 丁目、大正 1～3 丁目、古町 1～3 丁目、上市 1 丁目、今町 1・2 丁目、峠（当分の間、希望による）
	柏原東	上市 2～4 丁目、清州 1・2 丁目、河原町、堂島町、法善寺 1 丁目のうち 1 番～8 番・14 番～19 番、大県 1 丁目、太平寺 1 丁目のうち 1 番～3 番
堅上	堅上	雁多尾畑、青谷、本堂、峠
国分	国分	国分本町、国分市場、田辺、国分東条町、通称「高井田東住宅地区」894・897・898・904・905・908・922・923・924・1000・1004・1223・1224・1226・1227・1257・1258・1269・1287・1288・1326 番地
堅下北	堅下	平野 1・2 丁目、大県 2～4 丁目、法善寺 2 丁目のうち 1 番～10 番・11 番のうち 1 号・2 号・6 号以降、法善寺 2 丁目 12 番のうち 21 号以降
	堅下北	山ノ井町、法善寺 1 丁目のうち 9 番～13 番、法善寺 2 丁目 11 番のうち 3 号・4 号・5 号、法善寺 2 丁目 12 番のうち 1 号～20 号・13 番・14 番・15 番、法善寺 3・4 丁目
堅下南	堅下南	太平寺 1 丁目のうち 4 番～13 番、太平寺 2 丁目、安堂町、高井田（但し、894・897・898・904・905・908・922・923・924・1000・1004・1223・1224・1226・1227・1257・1258・1269・1287・1288・1326 番地を除く）
玉手	玉手	玉手町、石川町、片山町、円明町のうち 1 番～13 番・14 番のうち円明府営住宅を除く地区・15 番・17 番・18 番
	旭ヶ丘	国分西 1・2 丁目、旭ヶ丘 1～4 丁目、円明町 14 番のうち円明府営住宅・16 番・19 番以降、円明町のうち西名阪自動車道以南の円明町区域（地番表示区域）

3 計画の期間

総合管理計画では、公共施設マネジメントを長期的な視点に立って進めていく観点から、40年間の計画期間としています。また、見直しについては、概ね10年単位を基本に、市の財政状況や社会環境の変化、上位関連計画等の変更など、本計画を見直す必要が生じた場合には適宜見直しを行うこととしています。

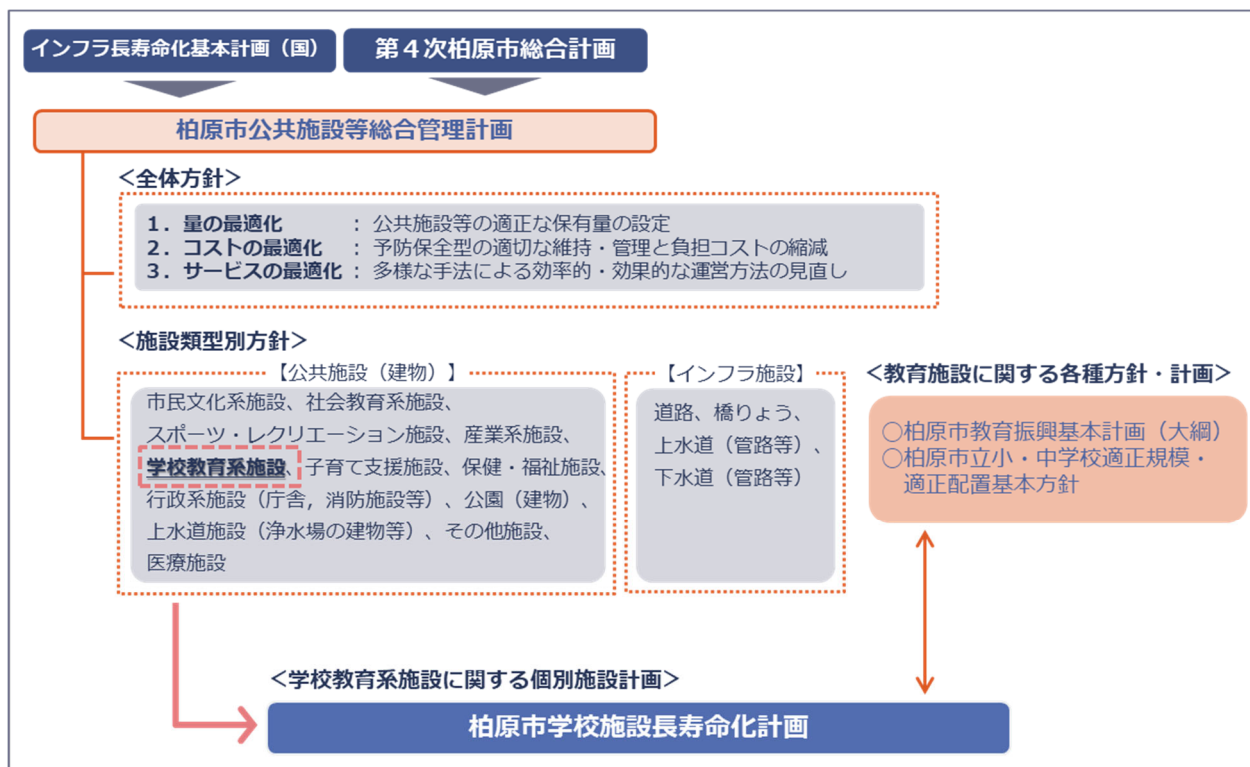
本計画は総合管理計画を踏まえた実行計画として、社会情勢の変化等にも対応しつつ、適切に運用していく観点により、2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間の計画期間とします。

計画期間 : 2021（令和3）年度～2030（令和12）年度の10年間

4 計画の位置づけ

本計画は、本市の最上位計画である「第4次柏原市総合計画」や、個別施設計画の上位計画となる総合管理計画の内容を踏まえるとともに、学校教育に関する庁内の方針や計画等とも適切に連携を図っていきます。

<計画の位置づけ>



※第4次柏原市総合計画は令和2年度を目標年次としており、第5次総合計画の策定を進めている

2章 学校施設の目指すべき姿

1 学校施設に関係する上位計画及び関連計画

(1) 第4次柏原市総合計画

政策目標4 人権を尊重し、地域への誇りを持った心豊かな個性と能力を発揮する人が育っている

施策目標2 〈学校教育〉一人一人の個性と能力を伸ばす学校教育が行われ、子どもの学力が向上している

重点目標4-2-2 教育環境：子どもが快適な学習環境の中で充実した教育を受けている

主要施策	学校施設の耐震化/市立幼稚園の充実/中学校給食実施の推進/一体型一貫校の推進
市民力、地域力 発揮のための指針	市民が子どもの学校生活と教育環境について理解を深められるよう、情報提供を行います

(2) 柏原市公共施設等総合管理計画

第4章：施設類型別方針

(5) 学校教育系施設

維持・管理方針	・小・中学校については、「柏原市立小・中学校の適正規模・適正配置基本方針」（平成28年9月策定）を踏まえ、施設の再編（統合）の検討を進めていきます。 【方針の内容】 ・柏原中学校、柏原小学校及び柏原東小学校の統合、柏原中学校の敷地内に施設一体型小中一貫教育校の設置を目指す。 ・堅上中学校、堅上小学校の統合化を検討する。 ・国分中学校、国分小学校、国分東小学校の統合化を検討する。候補地は国分中学校。 ・堅下北中学校、堅下小学校、堅下北小学校は、施設分離型小中一貫校の充実を図ったうえで施設一体型小中一貫教育校を設置する予定。 ・堅下南中学校、堅下南小学校の統合化を検討する。 ・玉手中学校、玉手小学校は、旭ヶ丘小学校は施設分離型小中一貫教育の充実を進める。 ・上記「基本方針」を踏まえつつ、今後の社会情勢や将来の人口動向、小・中学校や他の公共施設との近接性、自然災害リスク等を総合的に評価し、他施設も含めた施設の複合化の可能性を検討します。 ・なお、小・中学校の施設一体型小中一貫教育校は、小学校エリア・中学校エリアが必要となることから、必要に応じて既存施設のリニューアルが必要となります。 ・また、小・中学校への他施設の複合化の再編を行う場合には、セキュリティの確保から施設全体のリニューアルを前提として行うこととします。
---------	--

(3) 柏原市教育振興基本計画

第3章 柏原市の教育がめざすもの

基本方針4 安全・安心で、質の高い教育環境をつくります

(2) 安全、安心な教育環境の整備

[43] 安全、安心な施設 環境の構築	①施設設備の安全管理を一層強化し、老朽化した施設の計画的な整備、改修を行い、安全、安心な教育環境を保持します。 ②学校園の校舎については、空調設備の整備やトイレの改修（洋式化）などに取り組み、教育環境を整えます。 ③国分中学校グラウンド拡張用地については、関係機関と協議を行い、整備を進めます。 ④学校環境衛生基準に基づき学校環境の快適な環境づくりと衛生管理に努めます。 ⑤学校図書館については、「学校図書館図書標準」に基づき、図書等の計画的整備に努めるとともに、陳列の仕方や読書スペースの工夫を行うなど、子どもたちが本を読みたくするような読書環境を整え、学習・情報センターとして有効に活用できるよう取り組みます。また、司書教諭や学校司書、図書館司書、図書ボランティアの活用を進めます。
[44] 学校の適正規模、 適正配置の推進	①小規模校化が見込まれる柏原市立小・中学校において、より良い教育環境と効果的な学校教育を実現するために、平成28年9月に「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」を策定しました。今後、この基本方針に則り、目標年度が設定された校区については、保護者や地域住民の方々と意見を交わし、理解と協力を得ながら再編整備を進めます。

(4) 柏原市立小・中学校 適正規模・適正配置基本方針

各中学校区別方針

学校区	基本的な考え方
柏原中学校区 柏原小学校 柏原東小学校	・柏原中学校、柏原小学校及び柏原東小学校を統合し、施設一体型小中一貫教育校の設置を目指します。
堅上中学校区 堅上小学校	・当面は現状を維持し、施設分離型小中一貫教育の教育効果を一層高める取り組みを推進します。 ・将来的には、施設一体型小中一貫教育校の設置を目指します。
国分中学校区 国分小学校 国分東小学校	・国分小学校と国分東小学校を統合し、1小1中による施設分離型小中一貫教育の教育効果を一層高める取り組みを推進します。 ・将来的には、施設一体型小中一貫教育校の設置を目指します。
堅下北中学校区 堅下小学校 堅下北小学校	・堅下小学校、堅下北小学校それぞれの校区の児童数は増加傾向にあるため、当面は現状を維持し、施設分離型小中一貫教育の教育効果を一層高める取り組みを推進します。 ・将来的には、施設一体型小中一貫教育校の設置を目指します。
堅下南中学校区 堅下南小学校	・当面は現状を維持し、施設隣接型小中一貫教育の教育効果を一層高める取り組みを推進します。 ・将来的には、施設一体型小中一貫教育校の設置を目指します。
玉手中学校区 玉手小学校 旭ヶ丘小学校	・当面はそれぞれの学校が適正規模校として推移していくことが予測されるため、現状を維持し、施設分離型小中一貫教育の教育効果を一層高める取り組みを推進します。

2 学校施設の目指すべき姿

(1) 各学校の教育目標

各学校の教育目標は、以下のとおりです。

＜各学校の教育目標（令和２年度 各学校ホームページより）＞

区分	名称	教育目標
小学校	柏原	支え合い、誰もが輝く学校～一人ひとりの学ぶ喜びを引き出す教育の推進～ 「深く学ぶ子」「ともに生きる子」「最後までがんばる子」の育成
	柏原東	未来を切りひらく、心豊かでたくましい児童の育成
	堅上	連続性を重視した一貫教育により、恵まれた自然環境を生かし、豊かな心と生きる学力の育成
	国分	なかよく かしく たくましく ～互いを認め合い、笑顔あふれる国分の子～
	堅下	確かな学力、豊かな心、豊かな社会性を育み、生きるチカラをつける
	堅下北	正しく判断し正しく行動する人間の育成
	堅下南	強い子 聡い子 清い子
	玉手	豊かな心と確かな学力を持ち、いのちを大切にする子どもの育成
	旭ヶ丘	すべての子どもの笑顔が輝く学校 ～確かな学力と豊かな心を持ち、生命を大切にする子どもの育成～
中学校	柏原	知・徳・体の調和的発達をとげ、心身ともに健全な人格の完成を目指して
	堅上	恵まれた自然環境を生かし、連続性を重視した一貫教育により、「生きる力」を育てる
	国分	知・徳・体の調和的発達を遂げ、自らの生き方の充実を目指し、主体的で想像的な人格の完成を図る
	堅下北	「生きる力」を身につけ、生涯にわたり、心豊かに、たくましく、主体的に生きる生徒の育成に努める。
	堅下南	時を守り、場を清め、礼を糺す
	玉手	『豊かな心を培い、学びを大切にする生徒の育成』 ～出会い、ふれあい、助け合い～

(2) 学校施設の目指すべき姿の例

国においては、今後の学校施設の目指すべき姿の例として以下の内容が提示されています。今後、本市の学校施設の整備内容を検討する上で、適宜参考とします。

1. 安全性 ○災害対策 ・地震に強い学校施設 ・津波・洪水に強い学校施設 ・防災機能を備えた学校施設 ○防犯・事故対策 ・安全で安心な学校施設 2. 快適性 ○快適な学習環境 ・学習能率の向上に資する快適な学習環境 ・児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校 ・バリアフリーに配慮した環境 ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間 ○教職員に配慮した環境 ・教職員に配慮した空間 ・教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要なＩＣＴ環境 3. 学習活動への適応性 ○主体性を養う空間の充実 ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・子どもたちの教科等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間 ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間 ・社会性を身に付けるための空間 ○効果的・効率的な施設整備 ・習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間 ・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間 ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのＩＣＴ環境 ・各教科等の授業を充実させるための環境 ○言語活動の充実 ・各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間 ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのＩＣＴ環境	3. 学習活動への適応性（続き） ○理数教育の充実 ・充実した観察・実験を行うための環境 ○運動環境の充実 ・充実した運動ができる環境 ○伝統や文化に関する教育の充実 ・伝統や文化に関する教育を行うための環境 ○外国語教育の充実 ・外国語活動等におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間 ○学校図書館の活用 ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間 ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのＩＣＴ環境 ・地域に開かれた学校とするための環境 ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設 ○キャリア教育・進路指導の充実 ・充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境 ○食育の充実 ・食育のための空間 ○特別支援教育の推進 ・バリアフリーに配慮した環境 ・自閉症、情緒障害又はADHD等のある児童生徒に配慮した学校施設 ○環境教育の充実 ・地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール 4. 環境への適応性 ・環境を考慮した学校施設（エコスクール） 5. 地域の拠点化 ・安全で安心な学校施設 ・バリアフリーに配慮した環境 ・地域に開かれた学校とするための環境 ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設
---	---

資料：「学校施設整備基本構想の在り方について」学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議

3章 学校施設の現状

1 学校施設の概要

(1) 柏原小学校

柏原小学校は、敷地が 13,567 m²あり、そのうち 5,604 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 6 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 7,532 m²、体育館が約 986 m²です。校舎は 1968（昭和 43）年に建設され、52 年が経過しています。体育館は 1994（平成 6）年に建設され、26 年が経過しています。

＜柏原小学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
10-1	校舎 1	RC	3	743	1968	52	旧済
10-2	校舎 2	RC	3	1,672	1980	40	旧済
14-1	校舎 3	RC	3	648	1971	49	旧済
14-2	校舎 4	RC	4	3,276	1981	39	旧済
14-3	校舎 5	RC	3	276	1981	39	旧済
17	校舎 6	RC	3	917	1973	47	旧済
22	体育館	S	2	986	1994	26	新

＜柏原小学校 施設写真＞



(2) 柏原東小学校

柏原東小学校は、敷地が 11,263 m²あり、そのうち 5,620 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 3 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 4,822 m²、体育館が約 1,142 m²です。校舎は 1966（昭和 41）年に建設され、54 年が経過しています。体育館は 2003（平成 15）年に建設され、17 年が経過しています。

＜柏原東小学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
11-1～2	校舎 1	RC	2	732	1966	54	旧済
13-1	校舎 2	RC	3	1,462	1972	48	旧済
18-1～2	校舎 3	RC	4	2,628	1985	35	新
21	体育館	S	2	1,142	2003	17	新

＜柏原東小学校 施設写真＞



(3) 堅下小学校

堅下小学校は、敷地が 11,980 m²あり、そのうち 5,823 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 3 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 4,962 m²、体育館が約 841 m²です。校舎は 1966（昭和 41）年に建設され、54 年が経過しています。体育館は 1986（昭和 61）年に建設され、34 年が経過しています。

＜堅下小学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
7-1～2	校舎 1	RC	3	1,593	1966	54	旧済
13-1～2	校舎 2	RC	3	906	1970	50	旧済
21	校舎 3	RC	4	2,463	1976	44	旧済
25	体育館	S	1	841	1986	34	新

＜堅下小学校 施設写真＞



(4) 堅上小学校

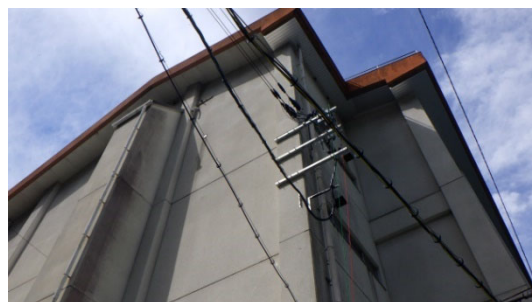
堅上小学校は、敷地が 4,762 m²あり、そのうち 2,524 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 1 棟で構成されています。延床面積は校舎が約 2,342 m²です。校舎は 1990 (平成 2) 年に建設され、30 年が経過しています。

＜堅上小学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震 状況
15	校舎 1	RC	4	2,342	1990	30	新

＜堅上小学校 施設写真＞



(5) 国分小学校

国分小学校は、敷地が 12,574 m²あり、そのうち 6,254 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 4 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 4,836 m²、体育館（校舎 4・体育館）が約 1,874 m²です。校舎は 1965（昭和 40）年に建設され、55 年が経過しています。体育館（校舎 4・体育館）は 1990（平成 2）年に建設され、30 年が経過しています。

＜国分小学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
2-1	校舎 1	RC	3	875	1970	50	旧済
3-1～2	校舎 2	RC	2	874	1965	55	旧済
13	校舎 3	RC	4	2,956	1977	43	旧済
17-1～2	校舎 4・体育館	RC	4	1,874	1990	30	新
20	校舎 5	S	1	131	1995	25	新

＜国分小学校 施設写真＞



(6) 玉手小学校

玉手小学校は、敷地が 16,950 m²あり、そのうち 8,777 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 4 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 4,683 m²、体育館が約 642 m²です。校舎は 1973 (昭和 48) 年に建設され、47 年が経過しています。体育館は 1974 (昭和 49) 年に建設され、46 年が経過しています。

＜玉手小学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
1	校舎 1	RC	2	664	1973	47	旧済
2-1	校舎 2	RC	3	1,635	1973	47	旧済
3	校舎 3	RC	3	1,487	1973	47	旧一
6	体育館	S	2	642	1974	46	旧済
7-1~3	校舎 4	RC	3	897	1975	45	旧済

＜玉手小学校 施設写真＞



(7) 堅下北小学校

堅下北小学校は、敷地が 17,770 m²あり、そのうち 8,444 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 5 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 4,858 m²、体育館が約 683 m²です。校舎は 1974 (昭和 49) 年に建設され、46 年が経過しています。体育館は 1975 (昭和 50) 年に建設され、45 年が経過しています。

<堅下北小学校 施設諸元>

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
1-1~3	校舎 1	RC	3	2,153	1974	46	旧一
2	校舎 2	RC	3	2,001	1974	46	旧済
4-1~2	校舎 3	RC	3	235	1974	46	旧済
6	体育館	S	2	683	1975	45	旧済
10	校舎 4	S	1	91	1981	39	旧一
12	校舎 5	S	3	378	2001	19	新

<堅下北小学校 施設写真>



(8) 堅下南小学校

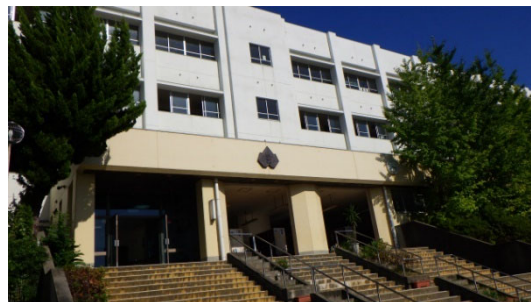
堅下南小学校は、敷地が 11,116 m²あり、そのうち 6,534 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 2 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 4,247 m²、体育館が約 761 m²です。校舎は 1977 (昭和 52) 年に建設され、43 年が経過しています。体育館は 1978 (昭和 53) 年に建設され、42 年が経過しています。

<堅下南小学校 施設諸元>

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
1-1~2	校舎 1	RC	4	3,821	1977	43	旧済
8	体育館	S	2	761	1978	42	旧済
10	校舎 2	S	4	426	2001	19	新

<堅下南小学校 施設写真>



(9) 旭ヶ丘小学校

旭ヶ丘小学校は、敷地が 11,980 m²あり、そのうち 5,823 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 2 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 5,655 m²、体育館が約 903 m²です。校舎は 1981 (昭和 56) 年に建設され 39 年が経過しています。体育館は 1982 (昭和 57) 年に建設され、38 年が経過しています。

<旭ヶ丘小学校 施設諸元>

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
1-1~3	校舎 1	RC	4	3,775	1981	39	旧済
3	体育館	RC	2	903	1982	38	旧済
5-1~2	校舎 2	RC	4	1,880	1981	39	旧一

<旭ヶ丘小学校 施設写真>



(10) 国分東小学校

国分東小学校は2020(令和2)年4月1日をもって閉校となっています。敷地が11,761㎡あり、そのうち5,175㎡を運動場で占めています。

建物は校舎2棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約4,349㎡、体育館が約1,199㎡です。校舎は2000(平成12)年に建設され、20年が経過しています。体育館は2000(平成12)年に建設され、20年が経過しています。

<国分東小学校 施設諸元>

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積(㎡)	建築年	築年数	耐震状況
1-1	校舎1	RC	4	2,701	2000	20	新
1-2	校舎2	RC	4	1,648	2000	20	新
2-1	体育館	RC	3	1,199	2000	20	新

<国分東小学校 施設写真>



(11) 柏原中学校

柏原中学校は、敷地が 21,520 m²あり、そのうち 17,118 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 4 棟と体育館・武道場で構成されています。延床面積は校舎が約 4,501 m²、体育館・武道場が約 2,123 m²です。校舎は 1960（昭和 35）年に建設され、60 年が経過しています。体育館・武道場は 1989（平成元年）年に建設され、31 年が経過しています。

＜柏原中学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
3-1~2	校舎 1	RC	3	1,239	1960	60	旧済
13	校舎 2	RC	3	1,330	1971	49	旧済
17-1	校舎 4	RC	4	1,841	1972	48	旧済
26	校舎 5	S	1	91	1981	39	旧済
29	体育館・武道場	RC	2	2,123	1989	31	新

＜柏原中学校 施設写真＞



(12) 堅上中学校

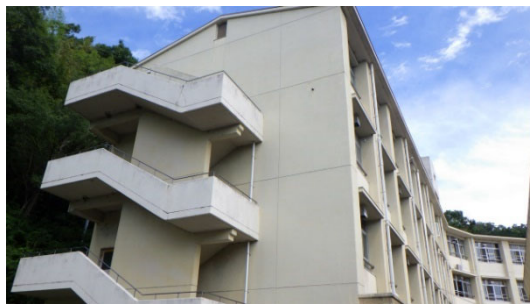
堅上中学校は、敷地が 10,210 m²あり、そのうち 7,906 m²を運動場（借用地）で占めています。

建物は校舎 2 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 2,804 m²、体育館が約 844 m²です。校舎は 1991（平成 3）年に建設され、29 年が経過しています。体育館は 1991（平成 3）年に建設され、29 年が経過しています。

＜堅上中学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
7	校舎 1	RC	4	2,662	1991	29	新
8	体育館	RC	2	844	1991	29	新
10	校舎 2	S	1	142	2013	7	新

＜堅上中学校 施設写真＞



(13) 国分中学校

国分中学校は、敷地が 15,553 m²あり、そのうち 8,669 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 4 棟と武道場、体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 4,980 m²、武道場が約 546 m²、体育館が約 754 m²です。校舎は 1962（昭和 37）年に建設され、58 年が経過しています。武道場は 1965（昭和 40）年に建設され、55 年が経過しています。体育館は 1985（昭和 60）年に建設され、35 年が経過しています。

＜国分中学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
3	校舎 1	RC	2	445	1962	58	旧済
5	校舎 2	RC	3	707	1971	49	旧済
6	校舎 3	RC	3	1,558	1973	47	旧済
19-1～2	校舎 4	RC	4	2,270	1978	42	旧済
24	武道場	S	1	546	1965	55	旧済
25	体育館	S	2	754	1985	35	新

＜国分中学校 施設写真＞



(14) 堅下北中学校

堅下北中学校は、敷地が 45,947 m²あり、そのうち 12,108 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 3 棟と体育館、部室で構成されています。延床面積は校舎が約 5,320 m²、体育館が約 1,104 m²、部室が約 216 m²です。校舎は 1976（昭和 51）年に建設され、44 年が経過しています。体育館は 1977（昭和 52）年に建設され、43 年が経過しています。部室は 1992（平成 4）年に建設され、28 年が経過しています。

＜堅下北中学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
1	校舎 1	RC	4	2,741	1976	44	旧済
3-1~2	校舎 2	RC	4	1,778	1976	44	旧済
5-1~2	校舎 3	RC	2	801	1976	44	旧一
12	体育館	S	2	1,104	1977	43	旧済
16	部室	S	2	216	1992	28	新

＜堅下北中学校 施設写真＞



(15) 堅下南中学校

堅下南中学校は、敷地が 34,234 m²あり、そのうち 7,420 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 1 棟と体育館で構成されています。延床面積は校舎が約 5,003 m²、体育館が約 1,049 m²です。校舎は 1983 (昭和 58) 年に建設され、37 年が経過しています。体育館は 1984 (昭和 59) 年に建設され、36 年が経過しています。

＜堅下南中学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
1	校舎 1	RC	4	5,003	1983	37	新
6	体育館	S	2	1,049	1984	36	新

＜堅下南中学校 施設写真＞



(16) 玉手中学校

玉手中学校は、敷地が 21,157 m²あり、そのうち 11,340 m²を運動場で占めています。

建物は校舎 1 棟と体育館、部室で構成されています。延床面積は校舎が約 6,860 m²、体育館が約 1,131 m²、部室が約 251 m²です。校舎は 1985（昭和 60）年に建設され、35 年が経過しています。体育館は 1985（昭和 60）年に建設され、35 年が経過しています。部室は 1985（昭和 60）年に建設され、35 年が経過しています。

＜玉手中学校 施設諸元＞

棟番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年	築年数	耐震状況
1	校舎 1	RC	4	6,860	1985	35	新
2	体育館	S	2	1,131	1985	35	新
3	部室	S	2	251	1985	35	新

＜玉手中学校 施設写真＞

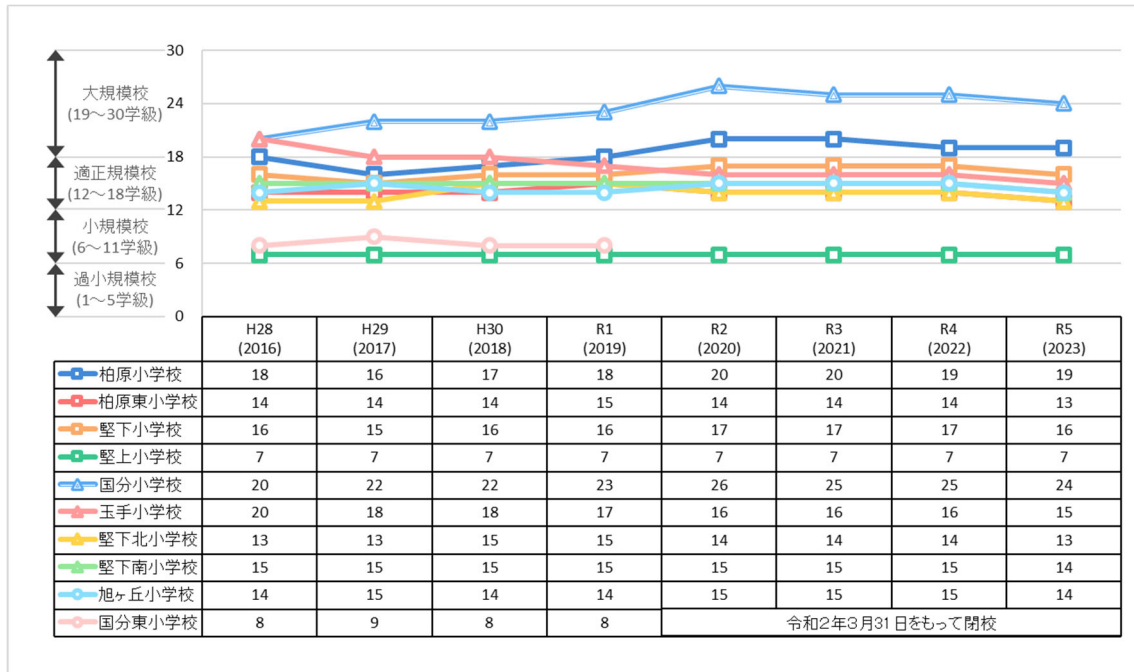


2 児童数及び学級数の変化

(1) 小学校

学校規模に関する国の基準で見ると、柏原小学校及び国分小学校が大規模校であり、柏原東小学校及び堅下小学校、玉手小学校、堅下北小学校、堅下南小学校、旭ヶ丘小学校が適正規模校、堅上小学校のみ小規模校となっています。

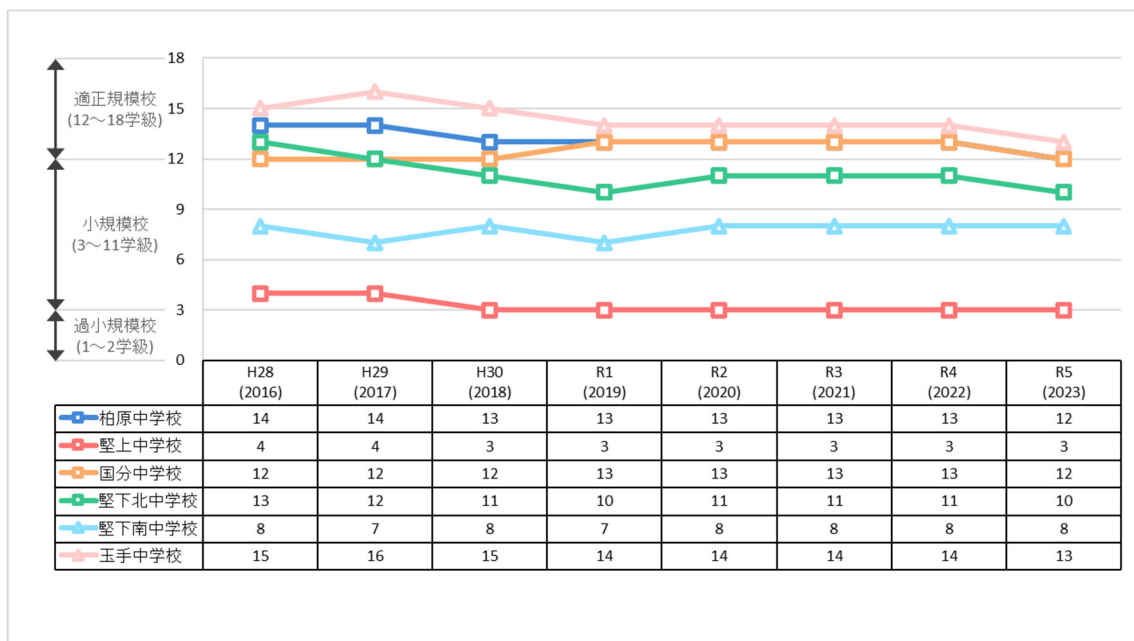
＜学級数の推移（小学校）＞



(2) 中学校

学校規模に関する国の基準で見ると、柏原中学校及び国分中学校、玉手中中学校が適正規模校であり、堅上中学校及び堅下北中学校、堅下南中学校が小規模校となっています。

＜学級数の推移（中学校）＞



3 学校施設の配置状況

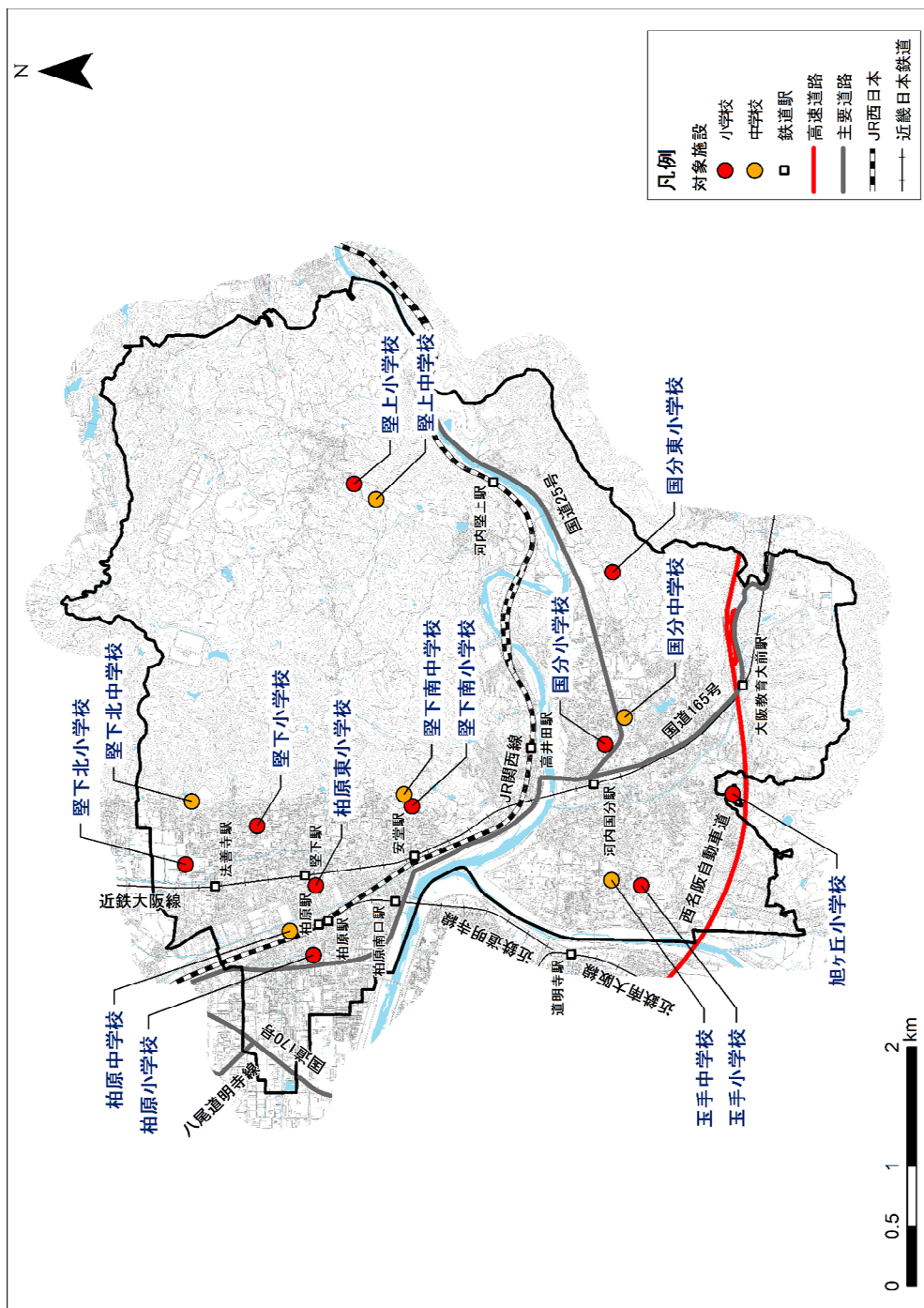
(1) 学校施設の位置

各施設の位置は下図に示すとおりです。

柏原小学校、柏原東小学校、堅下小学校、国分小学校、玉手小学校、堅下北小学校、堅下南小学校、旭ヶ丘小学校、柏原中学校、国分中学校、堅下北中学校、堅下南中学校は市街地及びその周辺地域に立地しています。

堅上小学校、堅上中学校については、市街化調整区域に立地しています。

＜各施設の位置＞

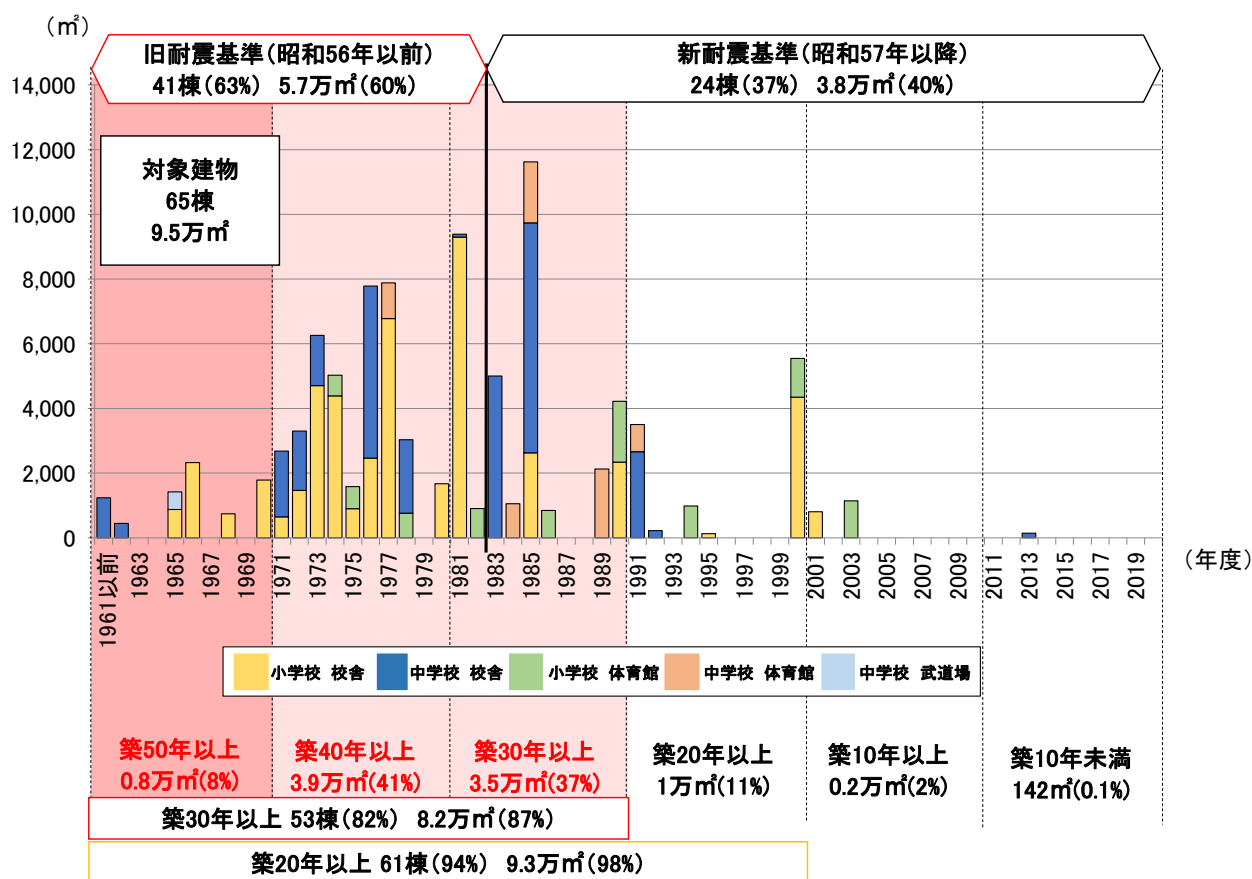


4 学校施設の建築年別整備状況

学校施設の建築年別整備状況をみると、旧耐震基準の校舎等が 41 棟で全体の 63%、新耐震基準の校舎等が 24 棟で全体の 37%を占めます。

建設された時期は、特に 1970（昭和 45）年～1985（昭和 60）に集中しており、築 30 年以上の校舎等が 54 棟と大半を占めています。

＜学校施設の建築年度別保有量（延床面積）＞



5 学校施設の耐震化の状況

国分東小学校を除くすべての小学校及び柏原中学校、国分中学校、堅下中学校、堅下北中学校に旧耐震基準（1981（昭和 56）年以前建築）の建築物があり、全延床面積の約 87%を占めます。

すべての旧耐震基準の建物について耐震診断を実施しており、診断の結果、十分な耐震性を有していない建築物については耐震補強を実施済となっています。

6 施設関連経費の推移

2016（平成28）年度から2020（令和2）年度における施設関連経費は、年度によって変動が見られ、5年間の平均は年間約5.4億円となっています。

経費の内訳を見ると、施設整備費が年間平均2億円弱で最も高い割合を占め、次いで、その他施設整備費が高くなっています。

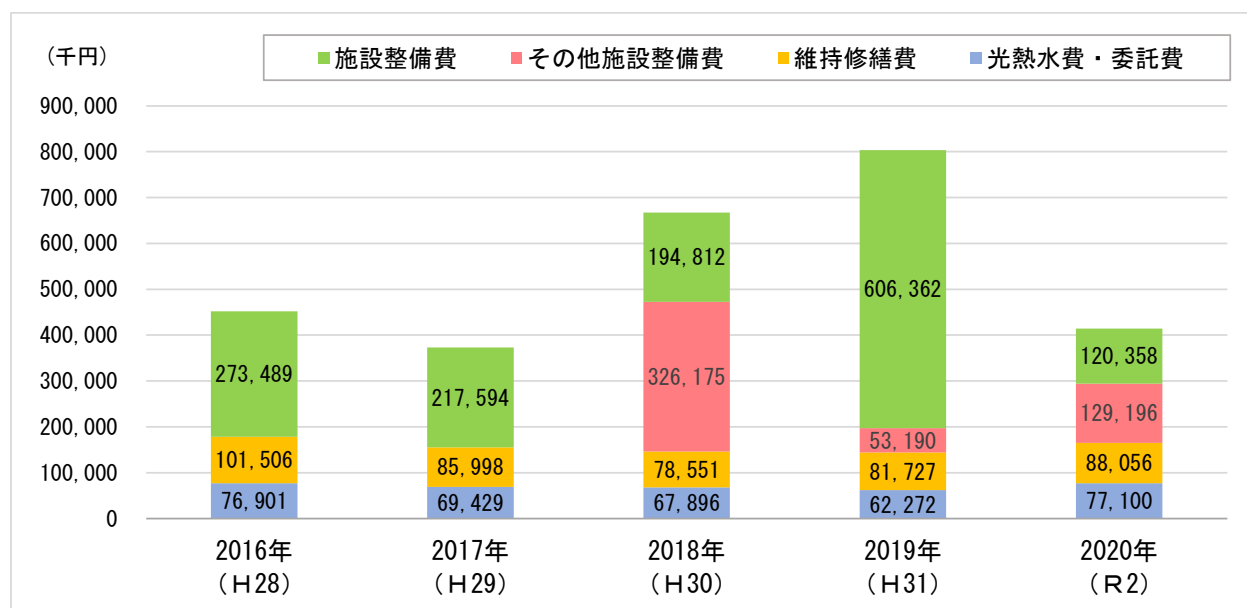
<施設関連経費の推移>

（単位：千円）

	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (H31)	2020年 (R2)	平均
■ 施設整備費	273,489	217,594	194,812	606,362	120,358	282,523
■ その他施設整備費	0	0	326,175	53,190	129,196	101,712
■ 維持修繕費	101,506	85,998	78,551	81,727	88,056	87,168
■ 光熱水費・委託費	76,901	69,429	67,896	62,272	77,100	70,719
合計	451,897	373,021	667,434	803,550	414,710	542,122

※2020年（R2）は予算額

※その他施設整備費は国分中のグラウンド整備費（用地費を含む）

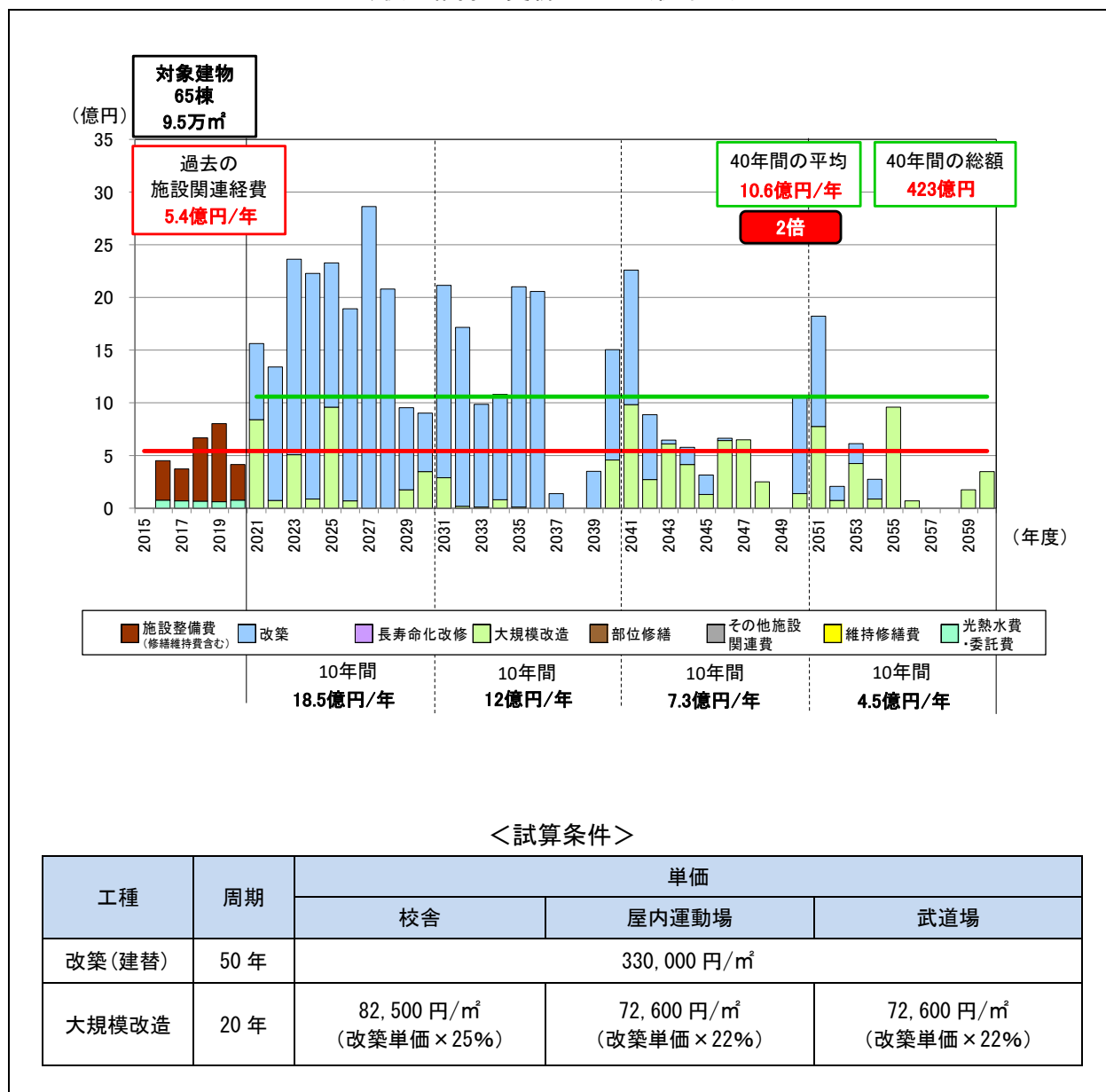


7 今後の維持・更新コスト（従来型）

学校施設にかかる将来更新費用を、文部科学省の学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（以下、「文科省解説書」という。）付属ソフトを用いて試算すると、今後 50 年間にかかる改築等の費用総額は約 423 億円となり、1 年当たりに換算すると毎年 10.6 億円の費用が必要となります。

本市の学校施設に対する施設関連経費は、2016（平成 28）年度から 2020（令和 2）年度における 5 年間の平均額が年間 5.4 億円であり、大きく不足することから、学校施設整備にかかるコストの縮減や平準化を図っていく必要があります。

<今後の維持・更新コスト（従来型）>



資料：文科省解説書付属ソフト

4章 学校施設の劣化等の状況

1 構造躯体の健全性の把握

長寿命化により、従来よりも長期間にわたって建物を使用するためには、十分な耐震性が確保されるとともに、構造躯体が健全な状態であることが求められます。

そこで、耐震安全性の確保状況について確認するとともに、過去の耐震診断の際に実施したコンクリート圧縮強度の試験結果をもとに、長寿命化改修の適否について整理しました。

(1) 耐震安全性

旧耐震基準の時期に建設された建物については、過去に耐震診断を実施しています。診断の結果、十分な耐震性を有していない建築物については耐震補強を実施し、耐震性を確保しています。

(2) 長寿命化改修の適否（コンクリート圧縮強度試験の数値による判断）

過去に実施された耐震診断の報告書からコンクリート圧縮強度試験の数値を確認し、以下の基準により、長寿命化改修の適切性を評価しました。

コンクリート 圧縮強度	文科省解説書の考え方にに基づき、コンクリート圧縮強度が $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ を上回っているものについては、構造躯体は健全であると判断し、「長寿命化が可能」とする。
----------------	--

結果として、柏原小学校の校舎6、柏原東小学校の校舎1、堅下北小学校の校舎1、柏原中学校の校舎1・2、国分中学校の校舎1については、コンクリート圧縮強度が $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以下であることから、長寿命化には適さないこととしました。また、玉手小学校の校舎1、旭ヶ丘小学校の校舎2についてはコンクリート圧縮強度の結果が不明であったため、今後詳細な調査が必要とし、同様に長寿命化には適さないこととしました。

その他の建物については $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ を上回ることから「長寿命化が可能」と判断されます。

2 劣化状況の調査・評価

以下に示す方法・手順により、各学校施設の劣化状況の調査及び評価を行いました。

(1) 建築物、設備等の概要整理

既存の図面、定期点検に係る資料等の収集・整理の他、現地確認をもとに、校舎、体育館等の建築物の概要や、主要な設備の設置状況について整理しました。設備に関しては以下の項目について設置状況を確認しました。

項目	設置状況の確認
電気設備	受変電設備、借室受変電設備、監視設備、一般照明設備、非常用照明設備、幹線設備 動力設備、電灯コンセント、電話配管工事、テレビ共同受信設備、インターホン設備 電気時計・拡声設備、避雷設備
給排水衛生設備	給湯設備、給水設備、排水設備、衛生器具設備、ガス設備
空調換気設備	空気調和設備、換気設備
昇降機設備	乗用エレベーター、ダムウエーター
防災設備	屋内消火栓、自動火災報知設備、避難誘導設備、消火器、非常警報設備、排煙設備 泡消火設備、連結送水管、スプリンクラー設備、ハロゲン化物消火設備、自家発電設備 避難器具、その他

(2) 施設管理者による事前チェック

各校の施設管理者に調査票を事前配布し、日常的な不具合や破損等の状況を確認しました。

項目	ヒアリング事項（事象の有無、対応の有無等の確認）
建築関係	屋上からの漏水・漏水痕跡、屋上で水溜りとなる箇所、外壁からの漏水・漏水痕跡、窓廻りからの漏水・漏水痕跡、外壁材の落下、窓・扉などで開閉に問題がある箇所、手摺のぐらつき、内部の壁・床などの著しいひび割れ、地盤沈下
設備関係	漏電等による停電、照明器具の著しい腐食、火災報知器等の誤報、赤水の発生・水の濁り、配管からの漏水、配管・桝からの漏水、給水ポンプ停止による断水、空調機・換気扇の不具合、エレベーター、厨房用小荷専用昇降機の不具合

(3) 劣化診断調査（現地調査）

文科省解説書に示される調査票を用い、建物の外回り、屋上、建物内部（仕上げ等）について、部位ごとの目視による点検を基本とし、部分的に触手・打診調査を実施しました。

通し番号				調査日		
学校名			学校番号			記入者
建物名						
棟番号			建築年度	年度(年度)		
構造種別		延床面積	m ²	階数	地上 階	地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水			☐ 降雨時に雨漏りがある			
	☐ アスファルト露出防水			☐ 天井等に雨漏り痕がある			
	☐ シート防水、塗膜防水			☐ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	☐ 勾配屋根(スレート、瓦類)			☐ 笠木・立上り等に損傷がある			
	☐ その他の屋根 ()			☐ 樋やルーフィングを目視点検できない			
				☐ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	☐ 塗仕上げ			☐ 鉄筋が見えているところがある			
	☐ タイル張り、石張り			☐ 外壁から漏水がある			
	☐ 金属系パネル			☐ 塗装の剥がれ			
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☐ タイルや石が剥がれている			
	☐ その他の外壁 ()			☐ 大きな亀裂がある			
	☐ アルミ製サッシ			☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	☐ 鋼製サッシ			☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 外部手すり等の錆・腐朽			
				☐ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修			
	☐ エコ改修			
	☐ トイレ改修			
	☐ 法令適合			
	☐ 校内LAN			
	☐ 空調設置			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
4 電気設備	☐ 構造体の耐震対策			
	☐ 非構造部材の耐震対策			
	☐ その他、内部改修工事			
5 機械設備	☐ 分電盤改修			
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
	☐ 給水配管改修			
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☐ その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	0 / 100点

(4) 劣化状況の評価方法

文科省解説書を参考とし、屋根・屋上、外壁、内部仕上については目視等による確認結果をもとに劣化状況の評価しました。電気設備、機械設備については経過年数のほか、施設管理者ヒアリングにおける不具合の指摘状況も考慮して評価を行いました。

屋根・屋上、外壁、内部仕上			電気設備、機械設備		
	評価	基準		評価	基準
	A	概ね良好		A	20年未満
	B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)		B	20～40年
	C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)		C	40年以上
劣化	D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等	劣化	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

(5) 健全度の算定

建物の部位ごとにA～Dの4段階で評価した劣化状況をもとに、Aを100点、Bを75点、Cを40点、Dを10点とし、100点満点で数値化した健全度を算定します。健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示しています。

①部位の評価

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

総和（①部位の評価点 × ②部位のコスト配分）÷60

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

【健全度の計算例】

	評価	評価点	配分	
1 屋根・屋上	C	→ 40	× 5.1	= 204
2 外壁	D	→ 10	× 17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	→ 75	× 22.4	= 1,680
4 電気設備	A	→ 100	× 8.0	= 800
5 機械設備	C	→ 40	× 7.3	= 292
計 3,148				
÷ 60				
健全度				52

資料：文科省解説書

3 調査及び評価の結果

(1) 評価の結果一覧

《小学校》

劣化状況を学校単位で見ると、柏原小学校と堅下小学校、玉手小学校、旭ヶ丘小学校において全体的に健全度が低めとなっており、他校と比べて劣化が進んでいます。柏原小学校の校舎3～5と旭ヶ丘小学校の校舎2については屋上防水層の劣化が著しいことを踏まえ、「D：早急に対応する必要がある」の評価としています。

建物基本情報												構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築 年 数	耐震安全性		長寿命化判定		劣化状況評価							
				学校種別	建物用途				西 暦	和 暦		基 準	診 断	補 強	調 査 年 度	圧縮 強度 (N/ ㎡)	試算上 の区分	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
1	柏原小学校	校舎1	10-1	小学校	校舎	RC	3	743	1968	S43	52	旧	済	済	H21	15.9	長寿命	A	A	B	C	C	75
2	柏原小学校	校舎2	10-2	小学校	校舎	RC	3	1672	1980	S55	40	旧	済	済	H21	28.5	長寿命	B	A	B	B	B	82
3	柏原小学校	校舎3	14-1	小学校	校舎	RC	3	648	1971	S46	49	旧	済	済	H15	19.5	長寿命	D	C	B	B	B	59
4	柏原小学校	校舎4	14-2	小学校	校舎	RC	4	3276	1981	S56	39	旧	済	済	H26	24	長寿命	D	B	B	B	B	70
5	柏原小学校	校舎5	14-3	小学校	校舎	RC	3	276	1981	S56	39	旧	済	済	H15	19.5	長寿命	D	B	C	B	B	56
6	柏原小学校	校舎6	17	小学校	校舎	RC	3	917	1973	S48	47	旧	済	済	H21	13.4	要調査	A	A	B	B	B	84
7	柏原小学校	体育館	22	小学校	体育館	S	2	986	1994	H6	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	B	B	87
8	柏原東小学校	校舎1	11-1～2	小学校	校舎	RC	2	732	1966	S41	54	旧	済	済	H26	8.8	要調査	A	A	B	C	C	75
9	柏原東小学校	校舎2	13-1	小学校	校舎	RC	3	1462	1972	S47	48	旧	済	済	H21	17.8	長寿命	A	A	B	C	C	75
10	柏原東小学校	校舎3	18-1～2	小学校	校舎	RC	4	2628	1985	S60	35	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
11	柏原東小学校	体育館	21	小学校	体育館	S	2	1142	2003	H15	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
12	堅下小学校	校舎1	7-1～2	小学校	校舎	RC	3	1593	1966	S41	54	旧	済	済	H15	24.1	長寿命	B	A	B	C	C	73
13	堅下小学校	校舎2	13-1～2	小学校	校舎	RC	3	906	1970	S45	50	旧	済	済	H15	24.2	長寿命	A	B	B	C	C	68
14	堅下小学校	校舎3	21	小学校	校舎	RC	4	2463	1976	S51	44	旧	済	済	H13	20.7	長寿命	B	C	B	C	C	56
15	堅下小学校	体育館	25	小学校	体育館	S	1	841	1986	S61	34	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	B	B	84
16	堅上小学校	校舎1	15	小学校	校舎	RC	4	2342	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
17	国分小学校	校舎1	2-1	小学校	校舎	RC	3	875	1970	S45	50	旧	済	済	H25	20.2	長寿命	A	A	B	C	C	75
18	国分小学校	校舎2	3-1～2	小学校	校舎	RC	2	874	1965	S40	55	旧	済	済	H25	17.8	長寿命	B	A	B	C	C	73
19	国分小学校	校舎3	13	小学校	校舎	RC	4	2956	1977	S52	43	旧	済	済	H21	18.3	長寿命	B	A	B	C	C	73
20	国分小学校	校舎4・体育館	17-1～2	小学校	体育館	RC	4	1874	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84
21	国分小学校	校舎5	20	小学校	校舎	S	1	131	1995	H7	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82
22	玉手小学校	校舎1	1	小学校	校舎	RC	2	664	1973	S48	47	旧	済	済	-	-	要調査	C	C	C	C	C	40
23	玉手小学校	校舎2	2-1	小学校	校舎	RC	3	1635	1973	S48	47	旧	済	済	H21	15.1	長寿命	A	C	C	C	C	45
24	玉手小学校	校舎3	3	小学校	校舎	RC	3	1487	1973	S48	47	旧	済	済	H23	19.5	長寿命	B	C	C	C	C	43
25	玉手小学校	体育館	6	小学校	体育館	S	2	642	1974	S49	46	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	C	C	66
26	玉手小学校	校舎4	7-1～3	小学校	校舎	RC	3	897	1975	S50	45	旧	済	済	H25	15	長寿命	A	B	B	C	C	75
27	堅下北小学校	校舎1	1-1～3	小学校	校舎	RC	3	2153	1974	S49	46	旧	済	済	H20	11.9	要調査	B	B	C	C	C	53
28	堅下北小学校	校舎2	2	小学校	校舎	RC	3	2001	1974	S49	46	旧	済	済	H23	15.9	長寿命	B	B	B	C	C	66
29	堅下北小学校	校舎3	4-1～2	小学校	校舎	RC	3	235	1974	S49	46	旧	済	済	H15	15.4	長寿命	A	A	B	C	C	75
30	堅下北小学校	体育館	6	小学校	体育館	S	2	683	1975	S50	45	旧	済	済	-	-	長寿命	B	A	B	C	C	73
31	堅下北小学校	校舎4	10	小学校	校舎	S	1	91	1981	S56	39	旧	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
32	堅下北小学校	校舎5	12	小学校	校舎	S	3	378	2001	H13	19	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84
33	堅下南小学校	校舎1	1-1～2	小学校	校舎	RC	4	3821	1977	S52	43	旧	済	済	H21	27.3	長寿命	B	A	B	C	C	73
34	堅下南小学校	体育館	8	小学校	体育館	S	2	761	1978	S53	42	旧	済	済	-	-	長寿命	C	A	B	C	C	70
35	堅下南小学校	校舎2	10	小学校	校舎	S	4	426	2001	H13	19	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	A	A	91
36	旭ヶ丘小学校	校舎1	1-1～3	小学校	校舎	RC	4	3775	1981	S56	39	旧	済	済	H21	27.3	長寿命	B	B	B	B	B	75
37	旭ヶ丘小学校	体育館	3	小学校	体育館	RC	2	903	1982	S57	38	旧	済	済	H20	15.6	長寿命	A	B	B	B	B	77
38	旭ヶ丘小学校	校舎2	5-1～2	小学校	校舎	RC	4	1880	1981	S56	39	旧	済	済	-	-	要調査	D	C	B	B	B	59
39	国分東小学校	校舎1	1-1	小学校	校舎	RC	4	2701	2000	H12	20	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
40	国分東小学校	校舎2	1-2	小学校	校舎	RC	4	1648	2000	H12	20	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	C	C	66
41	国分東小学校	体育館	2-1	小学校	体育館	RC	3	1199	2000	H12	20	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	81

《中学校》

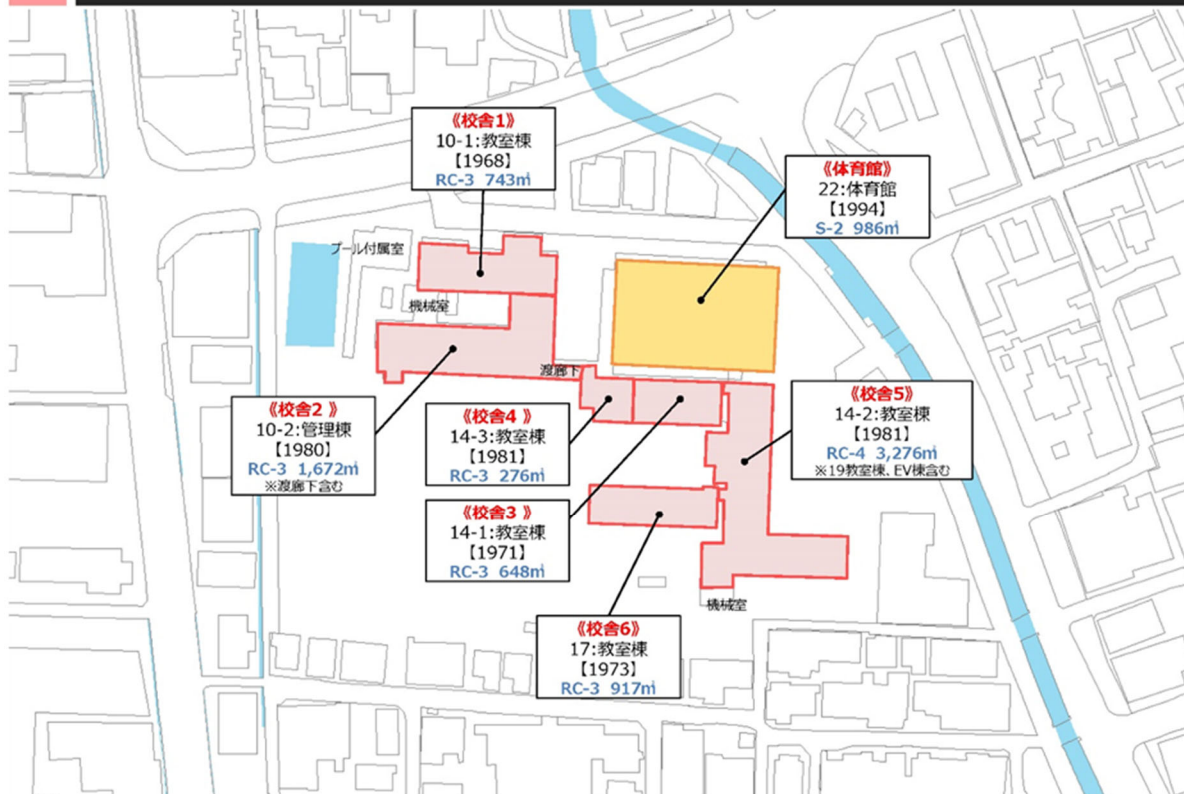
劣化状況を学校単位で見ると、柏原中学校と堅上中学校、国分中学校、堅下北中学校、玉手中学校において全体的に健全度が低めとなっており、他校と比べて劣化が進んでいます。柏原中学校の校舎1については鉄筋の露出や外壁亀裂等が多数見られること、国分中学校の武道場については利用上の支障が懸念される不陸が全体的にあることを踏まえ、「D：早急に対応する必要がある」の評価としています。

建物基本情報											構造躯体の健全性					劣化状況評価							
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築 年 数	耐震安全性		長寿命化判定			劣化状況評価						
				学校種別	建物用途				西 暦	和 暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/ mm ²)	試算上 の区分	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
42	柏原中学校	校舎1	3-1~2	中学校	校舎	RC	3	1239	1960	S35	60	旧	済	済	H26	10.7	要調査	A	D	B	C	C	50
43	柏原中学校	校舎2	13	中学校	校舎	RC	3	1330	1971	S46	49	旧	済	済	H26	12.1	要調査	C	A	B	C	C	70
45	柏原中学校	校舎4	17-1	中学校	校舎	RC	4	1841	1972	S47	48	旧	済	済	H26	15	長寿命	C	B	C	C	C	50
46	柏原中学校	校舎5	26	中学校	校舎	S	1	91	1981	S56	39	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
47	柏原中学校	体育館・武道場	29	中学校	体育館	RC	2	2123	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	B	B	84
48	堅上中学校	校舎1	7	中学校	校舎	RC	4	2662	1991	H3	29	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
49	堅上中学校	体育館	8	中学校	体育館	RC	2	844	1991	H3	29	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
50	堅上中学校	校舎2	10	中学校	校舎	S	1	142	2013	H25	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
51	国分中学校	校舎1	3	中学校	校舎	RC	2	445	1962	S37	58	旧	済	済	H25	12.9	要調査	A	A	A	C	C	85
52	国分中学校	校舎2	5	中学校	校舎	RC	3	707	1971	S46	49	旧	済	済	H20	18.7	長寿命	A	A	B	C	C	75
53	国分中学校	校舎3	6	中学校	校舎	RC	3	1558	1973	S48	47	旧	済	済	H20	17	長寿命	A	B	C	C	C	68
54	国分中学校	校舎4	19-1~2	中学校	校舎	RC	4	2270	1978	S53	42	旧	済	済	H15	26.1	長寿命	B	C	B	C	C	56
55	国分中学校	武道場	24	中学校	武道場	S	1	546	1965	S40	55	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	D	C	C	51
56	国分中学校	体育館	25	中学校	体育館	S	2	754	1985	S60	35	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
57	堅下北中学校	校舎1	1	中学校	校舎	RC	4	2741	1976	S51	44	旧	済	済	H20	26	長寿命	B	B	B	C	C	66
58	堅下北中学校	校舎2	3-1~2	中学校	校舎	RC	4	1778	1976	S51	44	旧	済	済	H15	18.8	長寿命	A	A	B	C	C	75
59	堅下北中学校	校舎3	5-1~2	中学校	校舎	RC	2	801	1976	S51	44	旧	済	-	H25	27.3	長寿命	C	B	C	C	C	50
60	堅下北中学校	体育館	12	中学校	体育館	S	2	1104	1977	S52	43	旧	済	済	-	-	長寿命	A	B	B	C	C	68
61	堅下北中学校	部室	16	中学校	その他	S	2	216	1992	H4	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	B	B	87
62	堅下南中学校	校舎1	1	中学校	校舎	RC	4	5003	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
63	堅下南中学校	体育館	6	中学校	体育館	S	2	1049	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84
64	玉手中学校	校舎1	1	中学校	校舎	RC	4	6860	1985	S60	35	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	C	B	B	59
65	玉手中学校	体育館	2	中学校	体育館	S	2	1131	1985	S60	35	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67
66	玉手中学校	部室	3	中学校	その他	S	2	251	1985	S60	35	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75

(2) 柏原小学校

施設NO 【学校施設】

1 柏原小学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎	RC	3	743	1968	A	A	B	C	C	75
校舎2	RC	3	1,672	1980	B	A	B	B	B	82
校舎3	RC	3	648	1971	D	C	B	B	B	59
校舎4	RC	4	3,276	1981	D	B	B	B	B	70
校舎5	RC	3	276	1981	D	B	C	B	B	56
校舎6	RC	3	917	1973	A	A	B	B	B	84
体育館	S	2	986	1994	A	B	A	B	B	87

A : 概ね良好

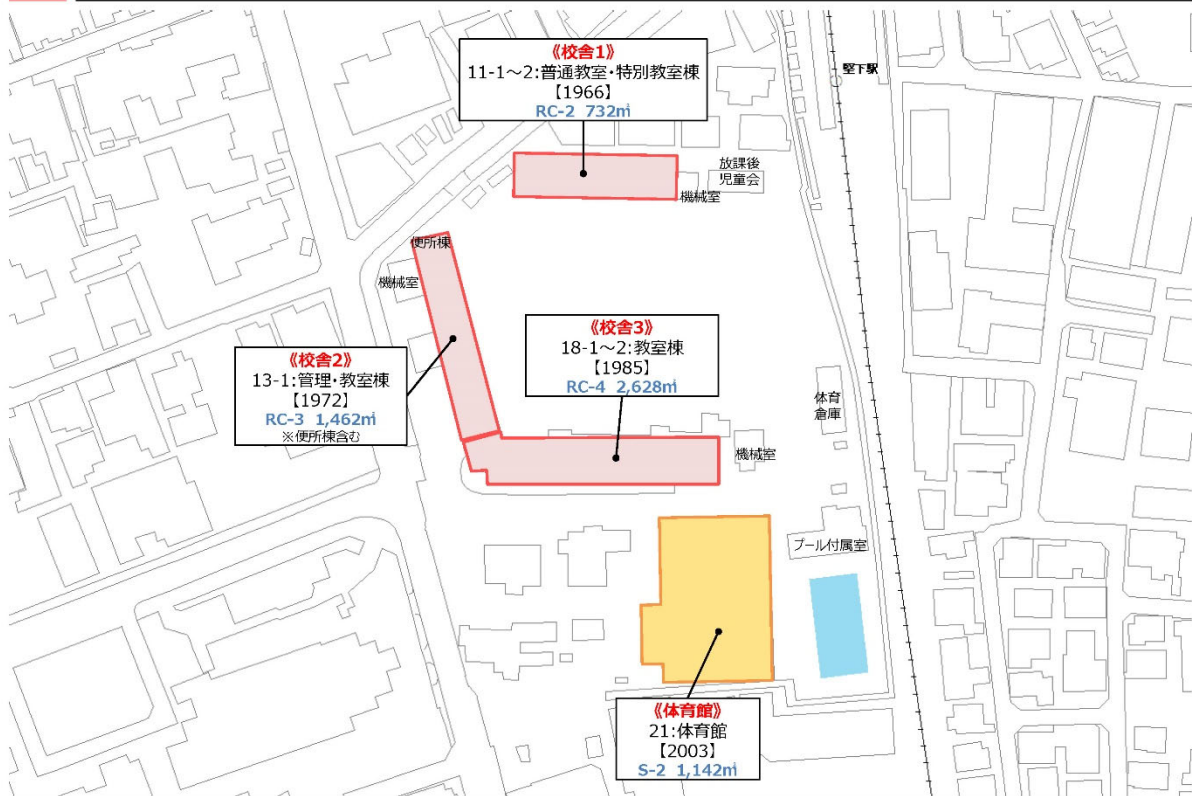
B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する必要がある

(3) 柏原東小学校

2 柏原東小学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	2	732	1966	A	A	B	C	C	75
校舎2	RC	3	1,462	1972	A	A	B	C	C	75
校舎3	RC	4	2,628	1985	C	B	B	B	B	72
体育館	S	2	1,142	2003	B	B	A	A	A	91

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

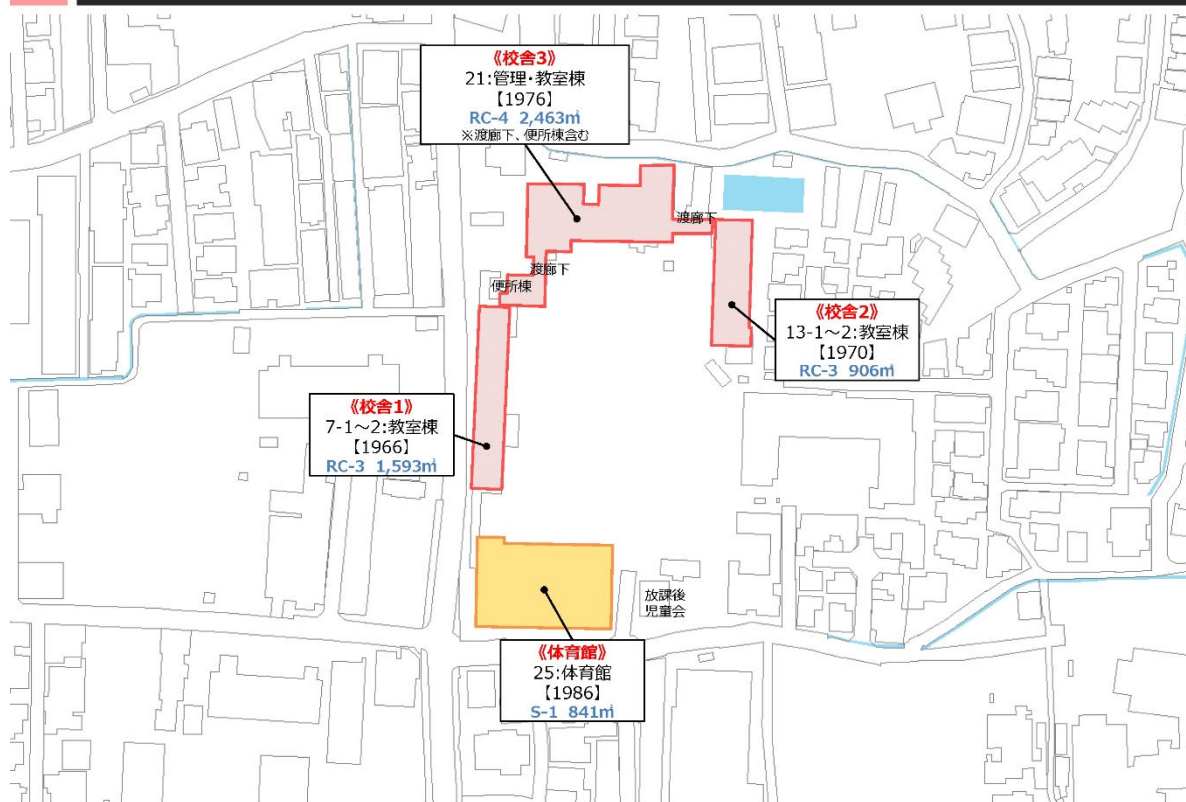
C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する必要がある

(4) 堅下小学校

施設NO 【学校施設】

3 堅下小学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	3	1,593	1966	B	A	B	C	C	73
校舎2	RC	3	906	1970	A	B	B	C	C	68
校舎3	RC	4	2,463	1976	B	C	B	C	C	56
体育館	S	1	841	1986	B	B	A	B	B	84

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

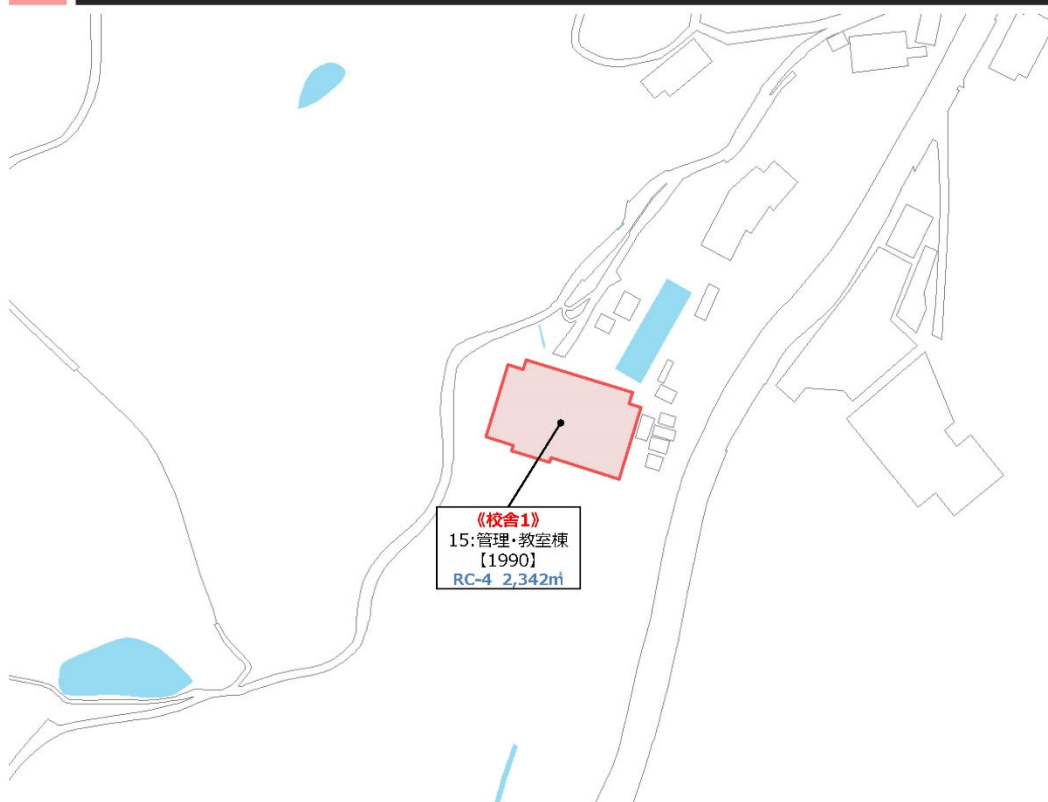
C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する必要がある

(5) 堅上小学校

施設NO 【学校施設】

4 堅上小学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	4	2,342	1990	B	B	B	B	B	75

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

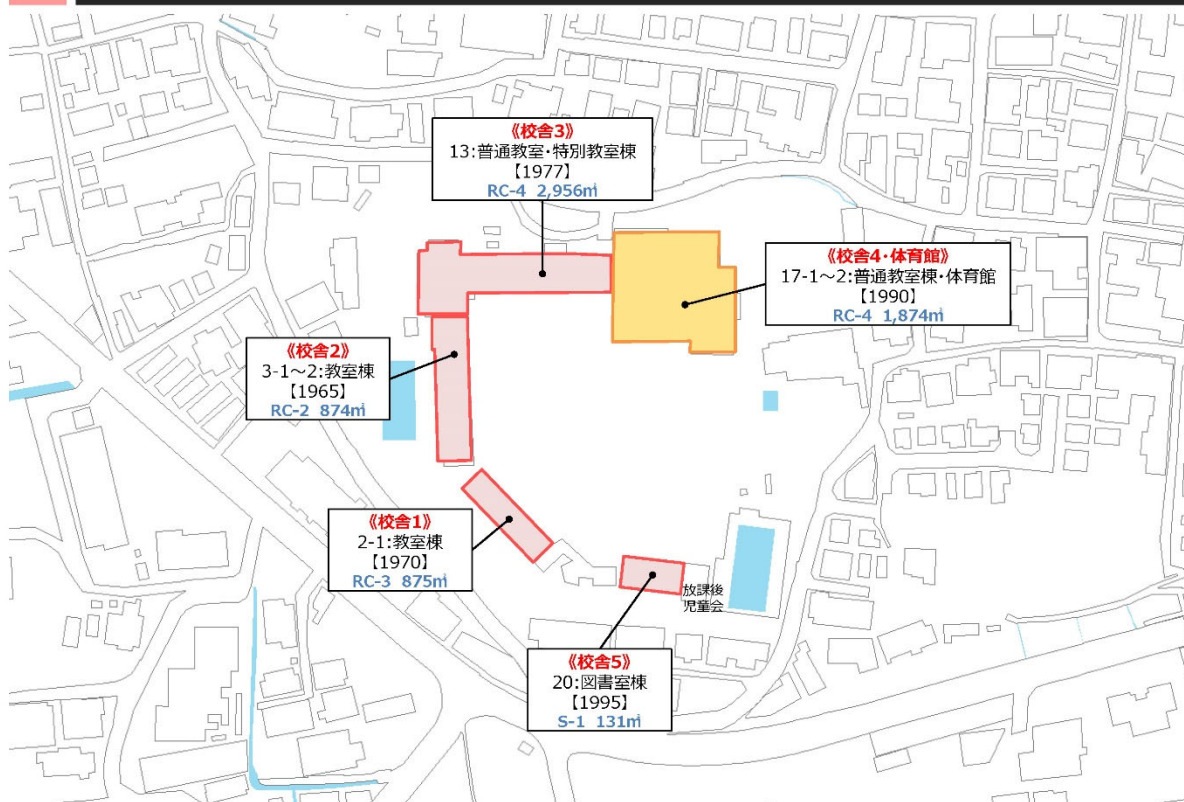
C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する必要がある

(6) 国分小学校

施設NO 【学校施設】

5 国分小学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	3	875	1970	A	A	B	C	C	75
校舎2	RC	2	874	1965	B	A	B	C	C	73
校舎3	RC	4	2,956	1977	B	A	B	C	C	73
校舎4・体育館	RC	4	1,874	1990	A	A	B	B	B	84
校舎5	S	1	131	1995	B	A	B	B	B	82

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

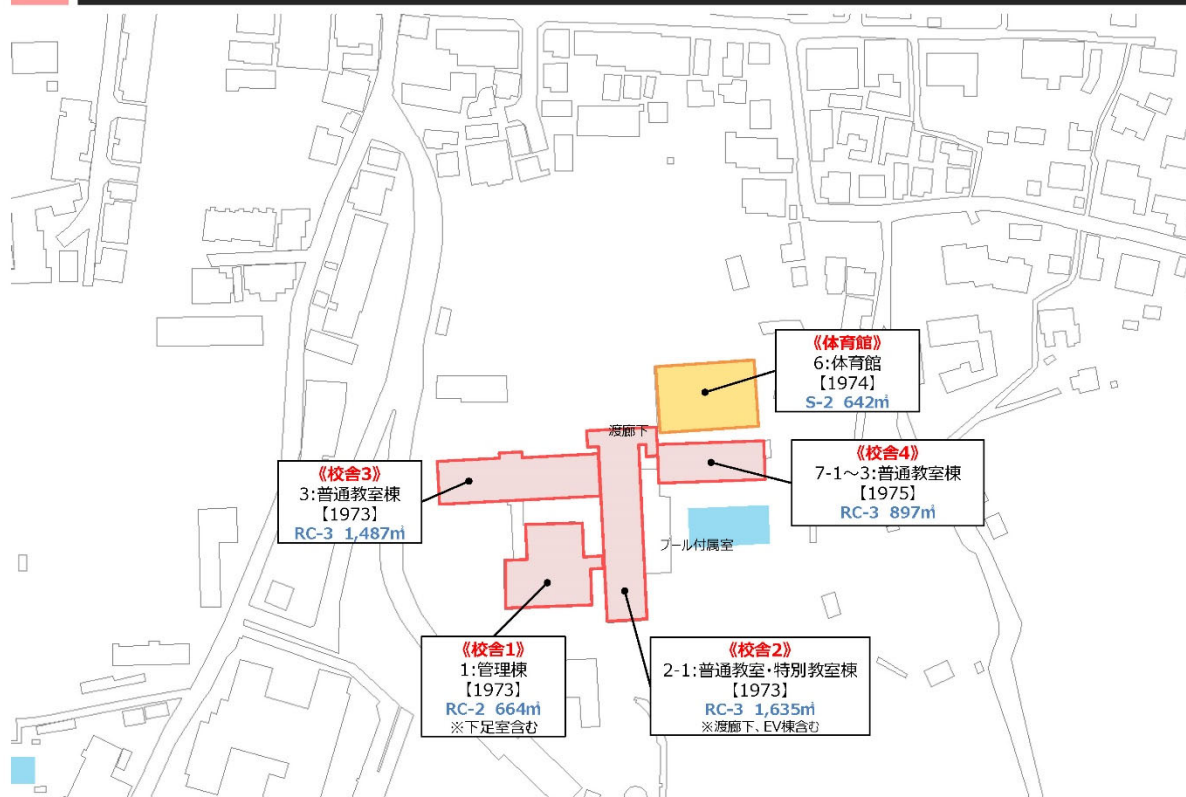
C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する必要がある

(7) 玉手小学校

施設NO. 【学校施設】

6 玉手小学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	2	664	1973	C	C	C	C	C	40
校舎2	RC	3	1,635	1973	A	C	C	C	C	45
校舎3	RC	3	1,487	1973	B	C	C	C	C	43
体育館	S	2	642	1974	B	B	B	C	C	66
校舎4	RC	3	897	1975	A	A	B	C	C	75

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

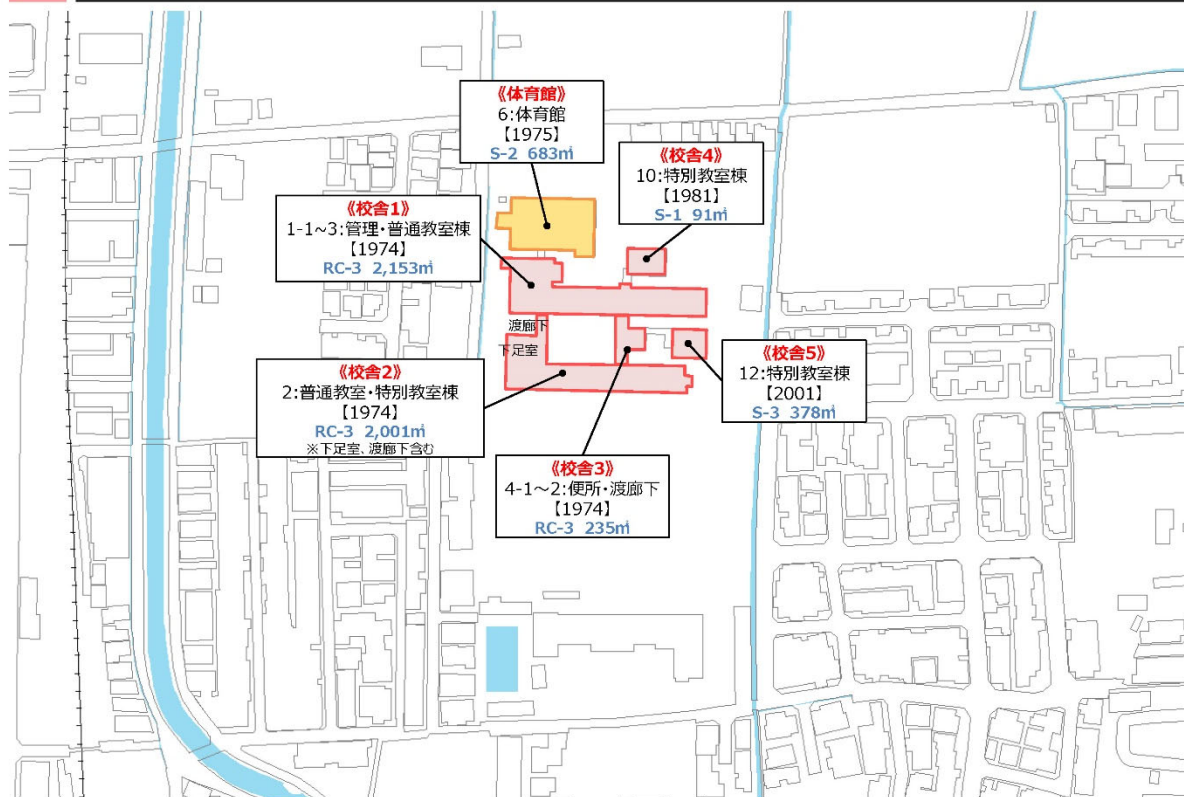
D : 早急に対応する必要がある

(8) 堅下北小学校

施設NO 【学校施設】

7

堅下北小学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
校舎1	RC	3	2,153	1974	B	B	C	C	C	53
校舎2	RC	3	2,001	1974	B	B	B	C	C	66
校舎3	RC	3	235	1974	A	A	B	C	C	75
体育館	S	2	683	1975	B	A	B	C	C	73
校舎4	S	1	91	1981	B	B	B	B	B	75
校舎5	S	3	378	2001	A	B	B	A	A	84

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

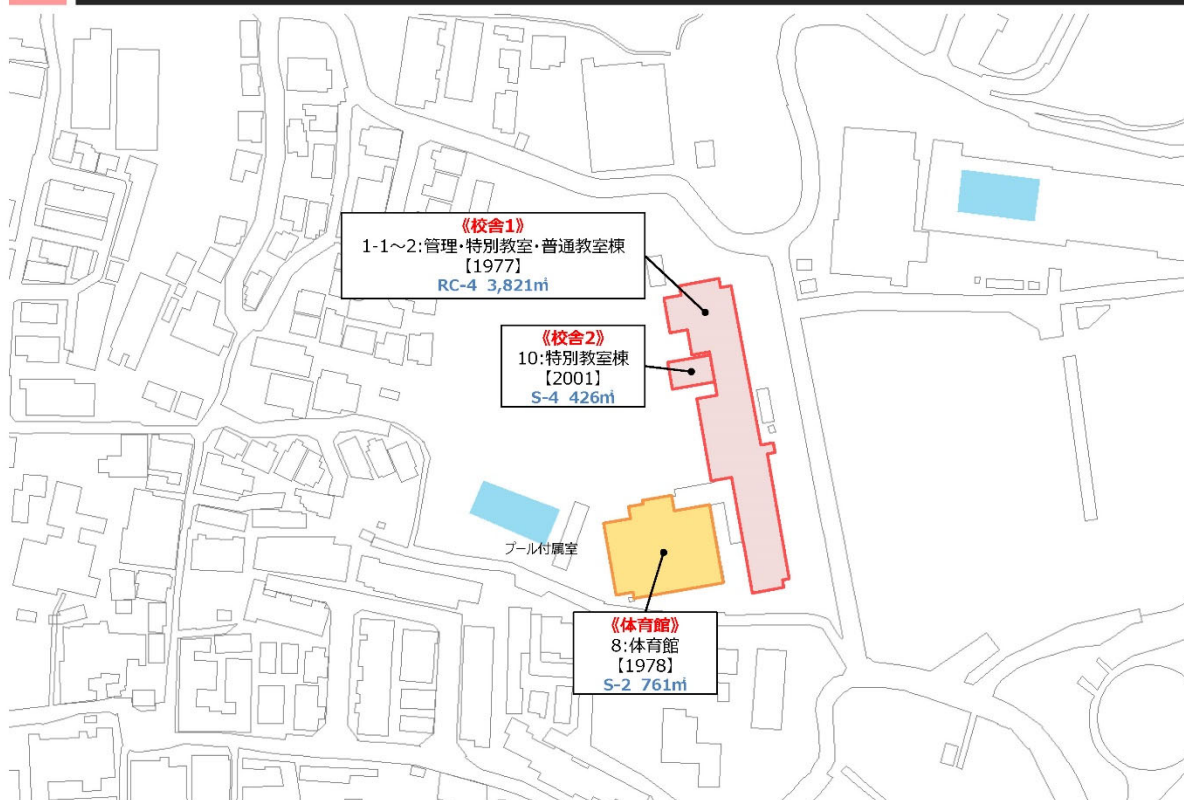
D : 早急に対応する必要がある

(9) 堅下南小学校

施設NO 【学校施設】

8

堅下南小学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (m²)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	4	3,821	1977	B	A	B	C	C	73
体育館	S	2	761	1978	C	A	B	C	C	70
校舎2	S	4	426	2001	A	A	B	A	A	91

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

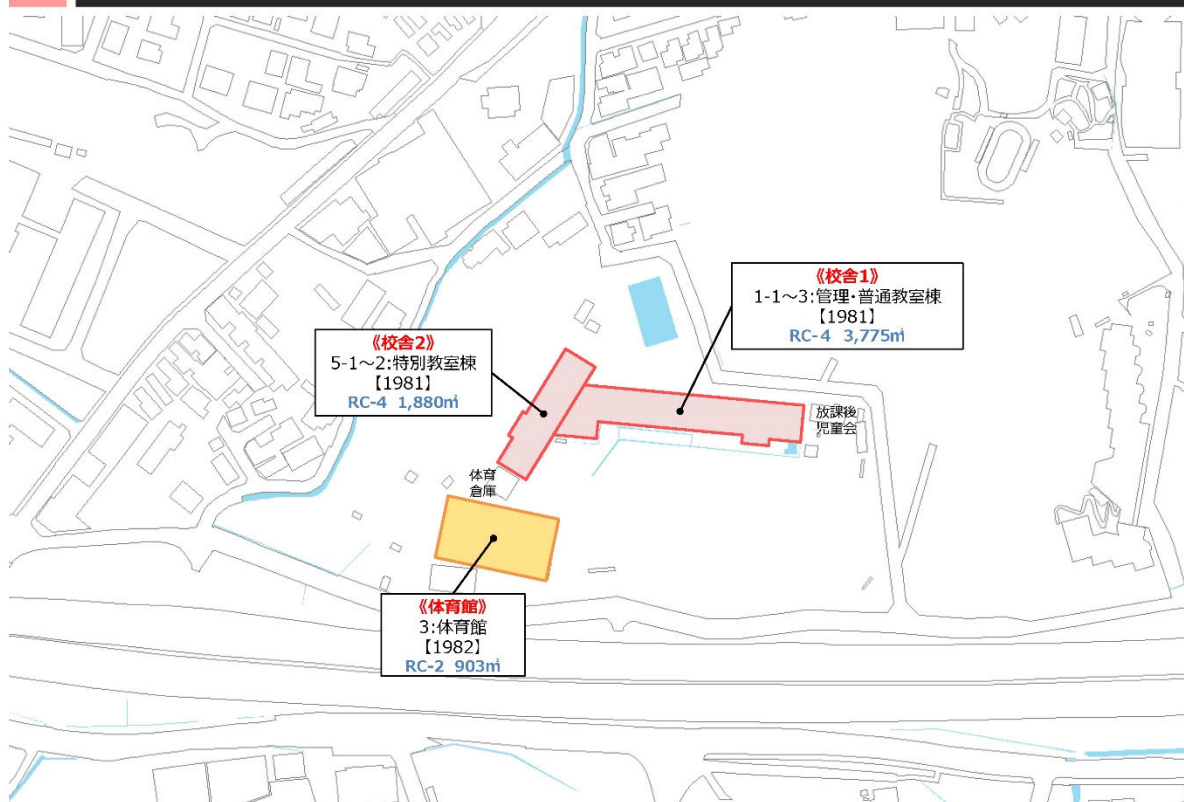
D : 早急に対応する必要がある

(10) 旭ヶ丘小学校

施設NO 【学校施設】

9

旭ヶ丘小学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	4	3,775	1981	B	B	B	B	B	75
体育館	RC	2	903	1982	A	B	B	B	B	77
校舎2	RC	4	1,880	1981	D	C	B	B	B	59

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

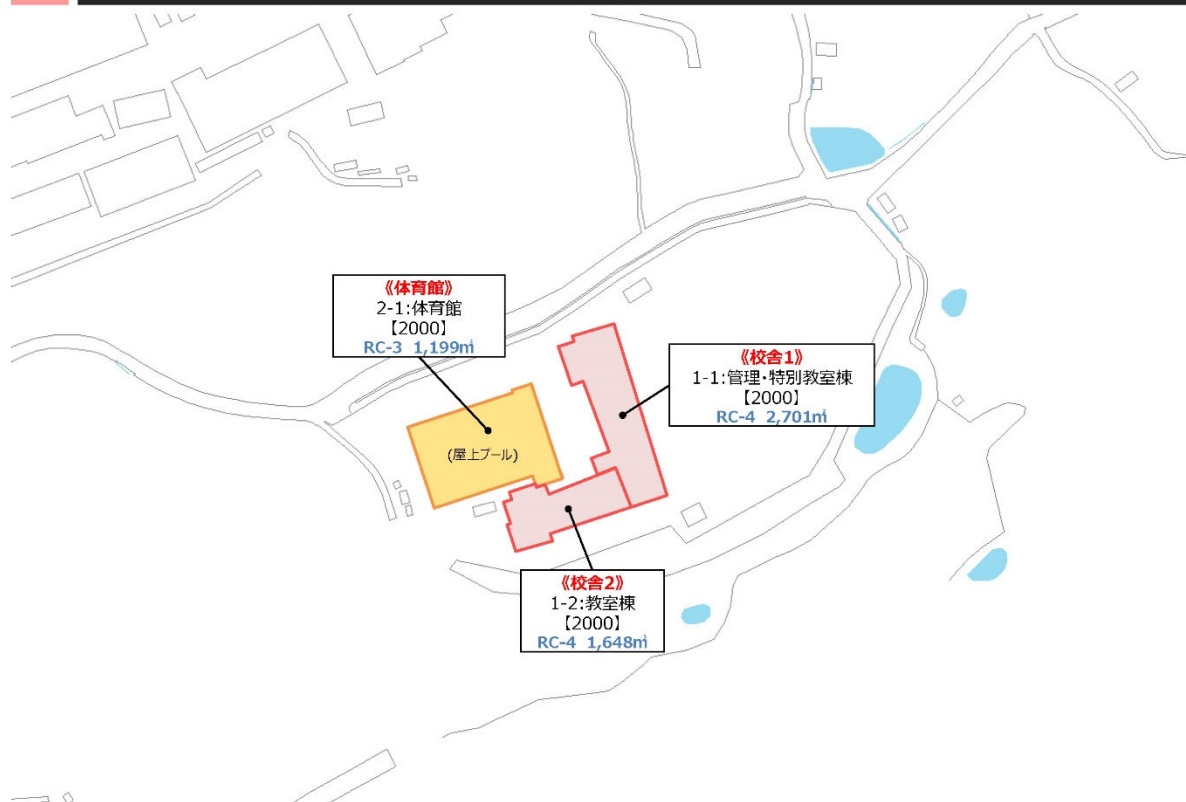
D : 早急に対応する必要がある

(11) 国分東小学校

施設NO 【学校施設】

10

国分東小学校【2020. 3月末で閉校】



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	4	2,701	2000	B	B	B	B	B	75
校舎2	RC	4	1,648	2000	B	B	B	C	C	66
体育館	RC	3	1,199	2000	B	B	B	A	A	81

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

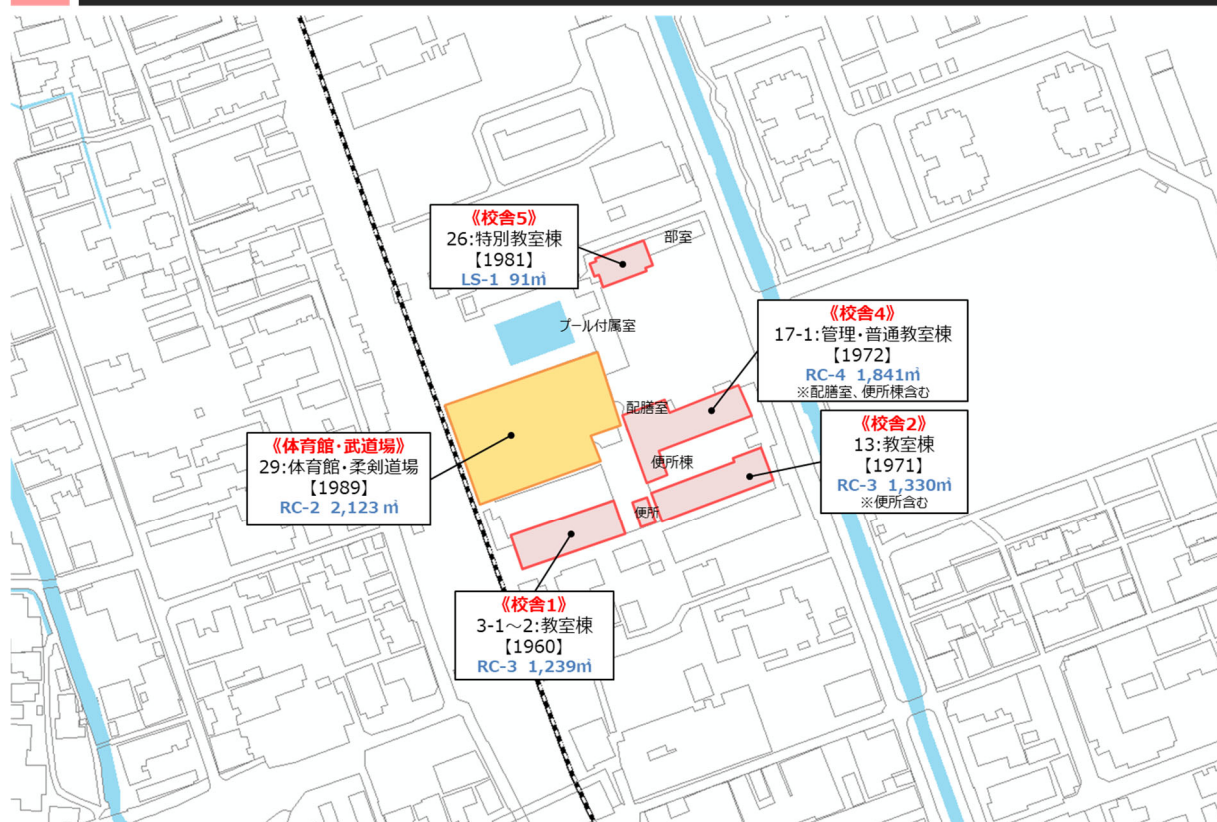
C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する必要がある

(12) 柏原中学校

施設NO. 【学校施設】

11 柏原中学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
校舎1	RC	3	1,239	1960	A	D	B	C	C	50
校舎2	RC	3	1,330	1971	C	A	B	C	C	70
校舎4	RC	4	1,841	1972	C	B	C	C	C	50
校舎5	S	1	91	1981	A	A	A	B	B	94
体育館・武道場	RC	2	2,123	1989	B	B	A	B	B	84

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

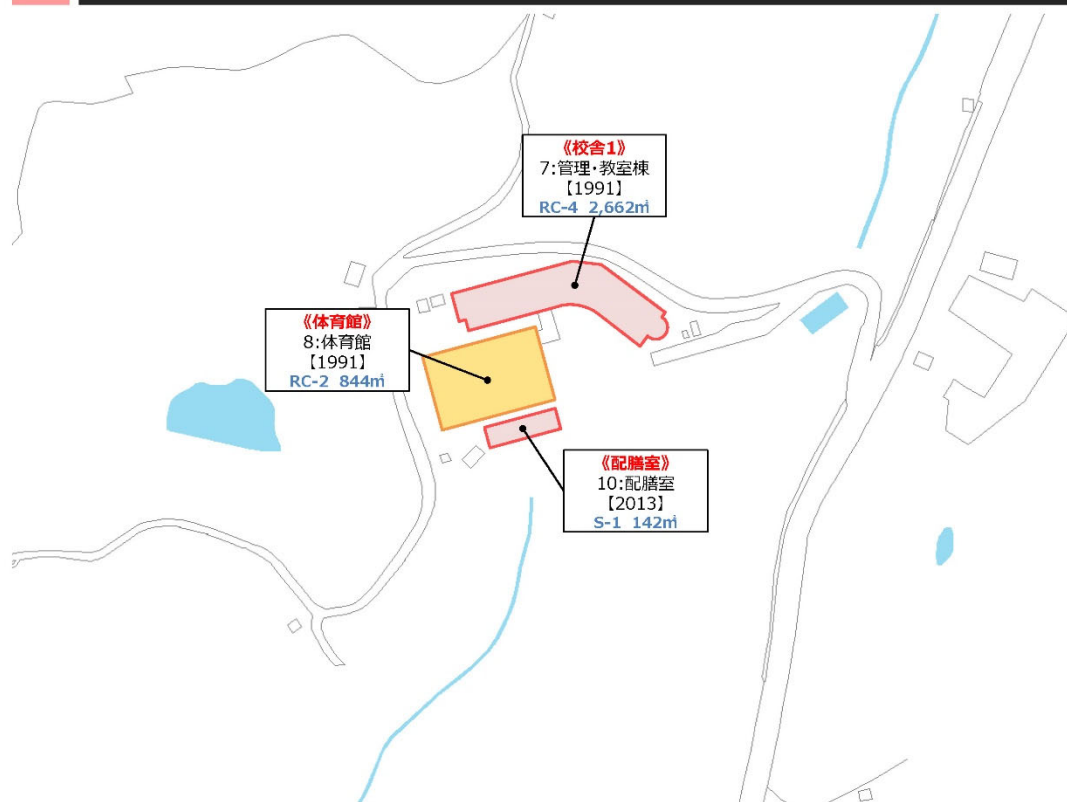
D : 早急に対応する必要がある

(13) 堅上中学校

施設NO 【学校施設】

12

堅上中学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
校舎1	RC	4	2,662	1991	B	B	B	B	B	75
体育館	RC	2	844	1991	C	B	B	B	B	72
校舎2	S	1	142	2013	A	A	A	A	A	100

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

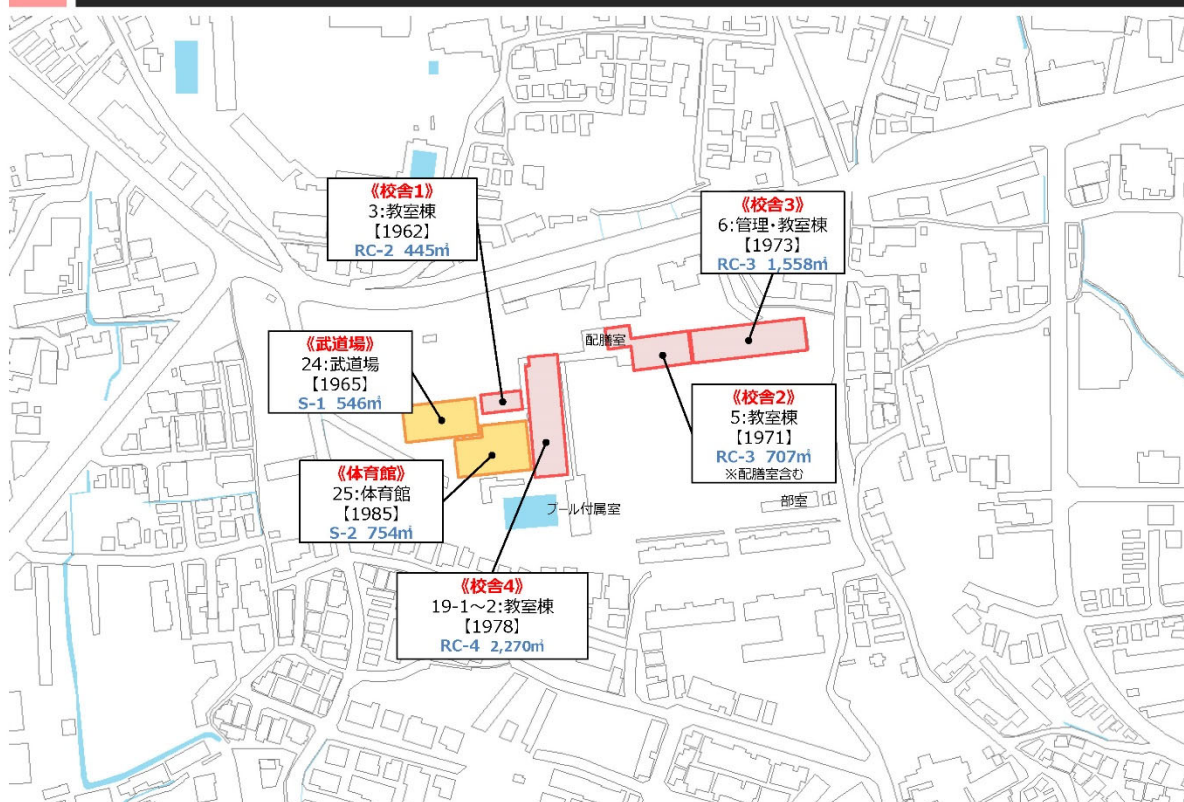
C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する必要がある

(14) 国分中学校

施設NO 【学校施設】

13 国分中学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
校舎1	RC	2	445	1962	A	A	A	C	C	85
校舎2	RC	3	707	1971	A	A	B	C	C	75
校舎3	RC	3	1,558	1973	A	B	B	C	C	68
校舎4	RC	4	2,270	1978	B	C	B	C	C	56
武道場	S	1	546	1965	A	A	D	C	C	51
体育館	S	2	754	1985	C	C	B	B	B	62

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

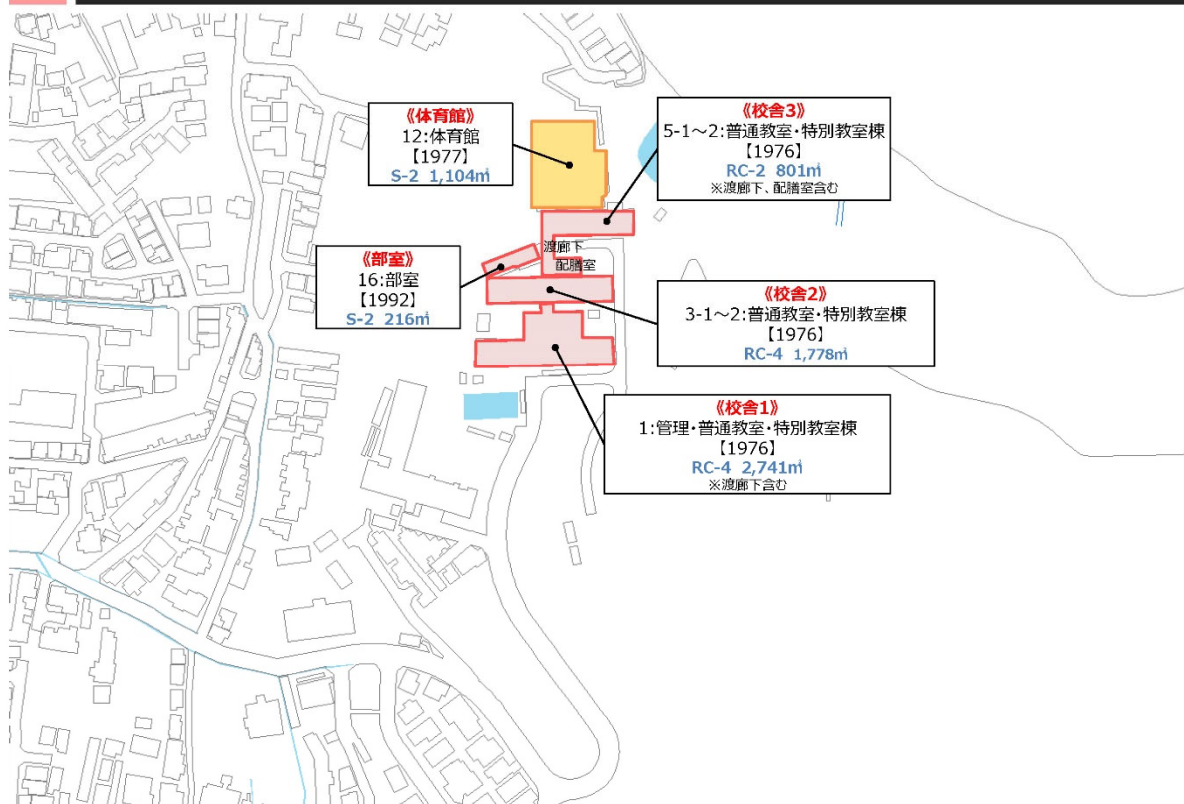
C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する必要がある

(15) 堅下北中学校

施設NO 【学校施設】

14 堅下北中学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	4	2,741	1976	B	B	B	C	C	66
校舎2	RC	4	1,778	1976	A	A	B	C	C	75
校舎3	RC	2	801	1976	C	B	C	C	C	50
体育館	S	2	1,104	1977	A	B	B	C	C	68
部室	S	2	216	1992	A	B	A	B	B	87

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

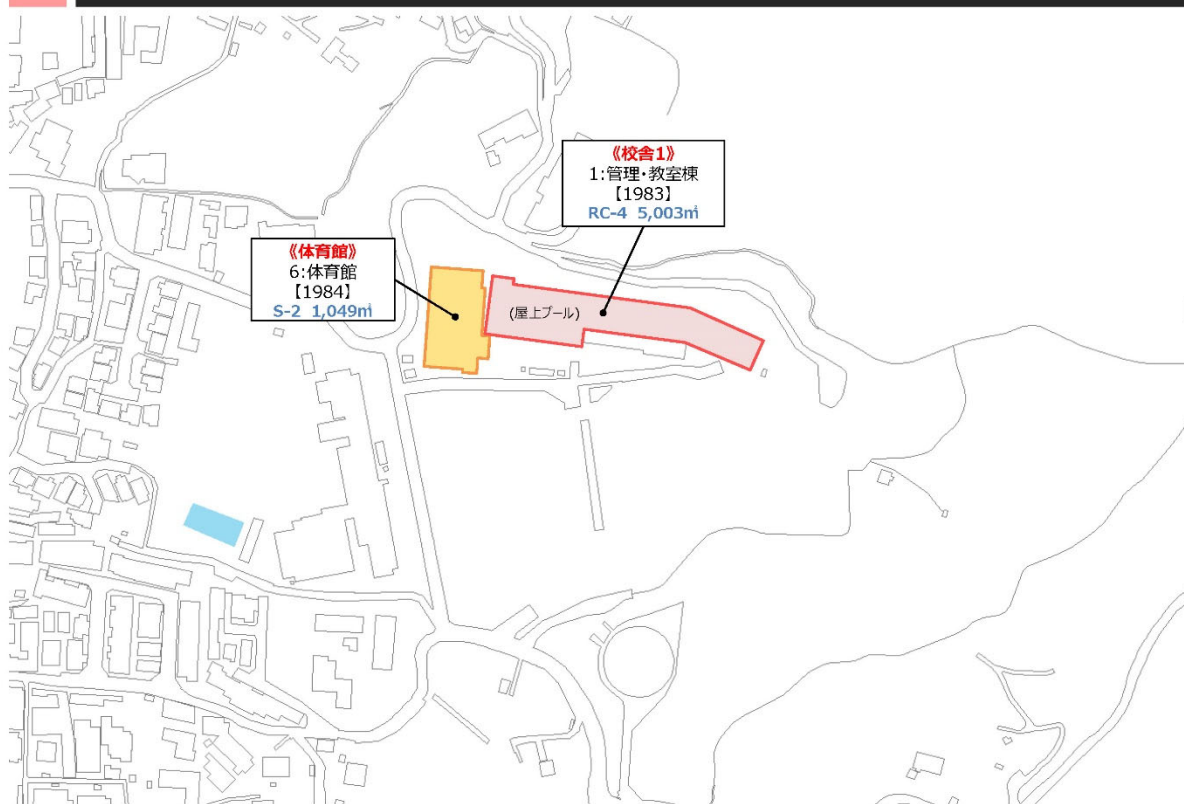
D : 早急に対応する必要がある

(16) 堅下南中学校

施設NO 【学校施設】

15

堅下南中学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
校舎1	RC	4	5,003	1983	C	B	B	B	B	72
体育館	S	2	1,049	1984	A	A	B	B	B	84

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

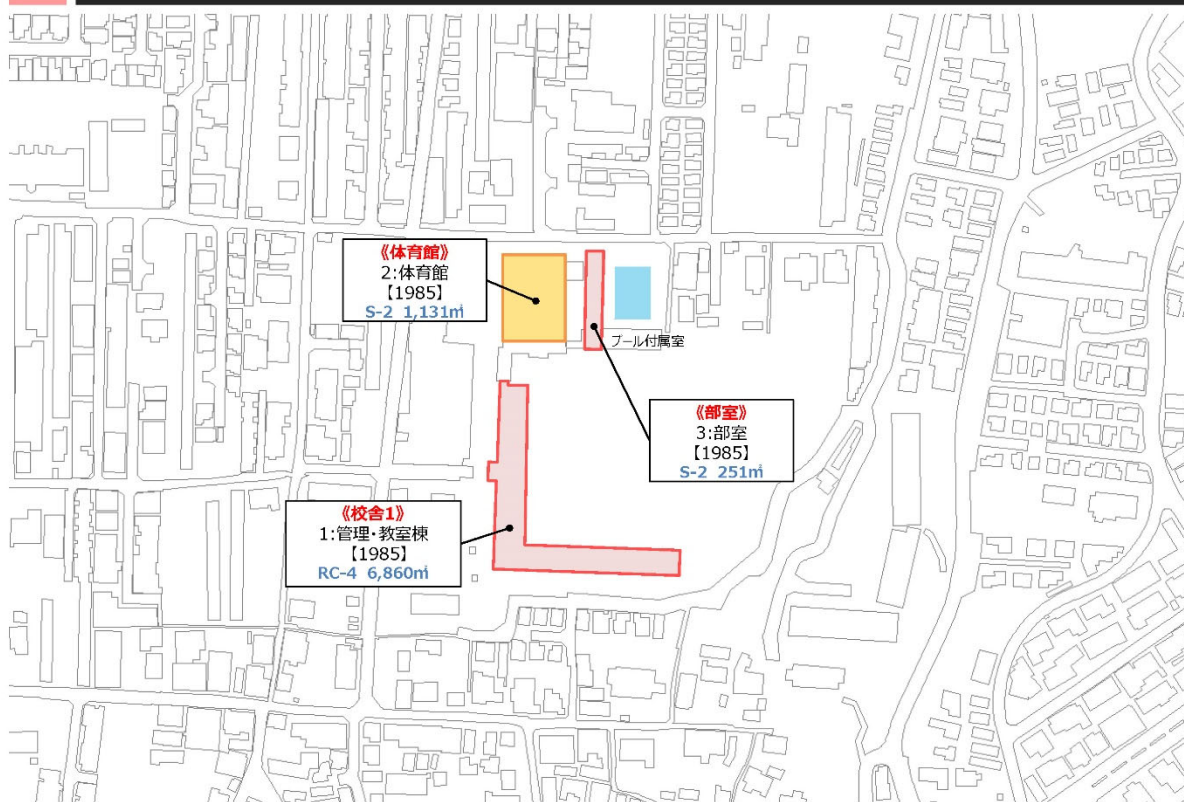
D : 早急に対応する必要がある

(17) 玉手中学校

施設NO 【学校施設】

16

玉手中学校



建物基本情報					劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
校舎1	RC	4	6,860	1985	C	B	C	B	B	59
体育館	S	2	1,131	1985	A	C	B	B	B	67
部室	S	2	251	1985	B	B	B	B	B	75

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する必要がある

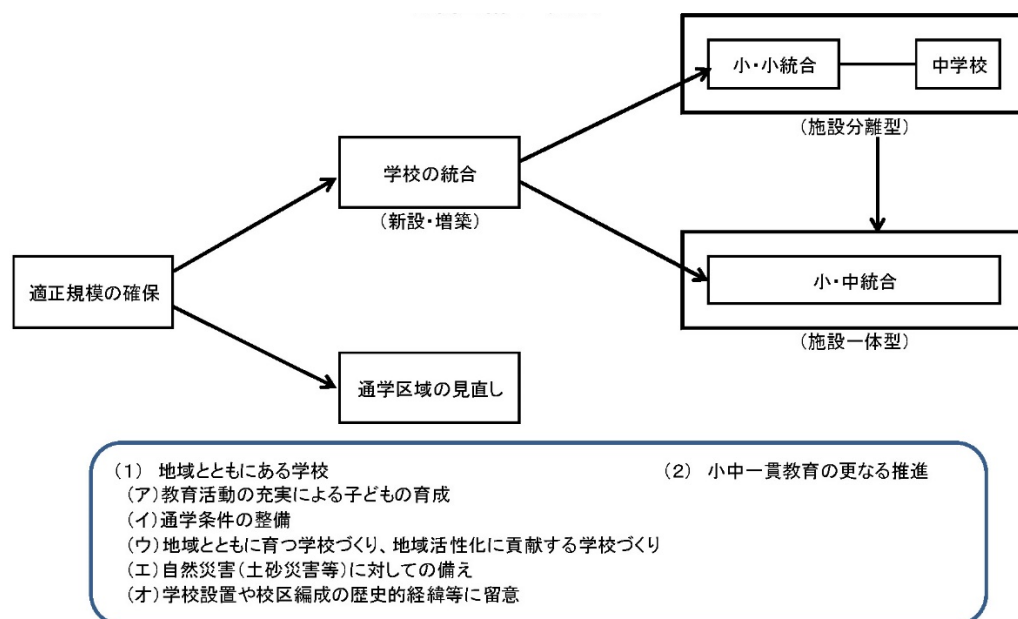
5章 学校施設整備の基本方針

1 学校施設の適正規模・適正配置の方針

「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針（平成28年9月）」では、再編整備の考え方が示されています。なお、令和3年度に見直しを予定しています。

<再編整備の考え方>

- 学校の再編整備を考える際、今回については中学校の通学区域は基本的に変更せずに考えます。地域の活動は通学区域を単位に行っていることが多く、特に中学校の通学区域は古くから地域コミュニティの単位となっており、その繋がりはとても強くなっているからです。更に教育委員会が進めている幼小中一貫教育は中学校を核として進めていることから、中学校の通学区域の変更や統合再編はこの基本方針では考えません。
- 児童・生徒数や学級数は、第2章「市立小・中学校の現状と将来推計」によって予測された数を基に考えます。そして、適正規模に満たない小学校において、その状況が将来的にも継続すると見込まれる場合には、適正規模を確保することを考えます。本市には大規模校はありませんので、小規模校への対策として「学校の統合（学校の新設統合、学校の増築統合）」、または「通学区域の見直し（拡大）」が考えられます。
- 学校を統合する場合は、小中一貫教育の更なる推進の観点も踏まえて、小学校同士の統合か、中学校も視野に入れた統合なのかも考えます。その際には、適正規模・適正配置を検討する際の視点を充分考慮して、学校の再編整備を進めていきます。



資料：柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針（平成28年9月）

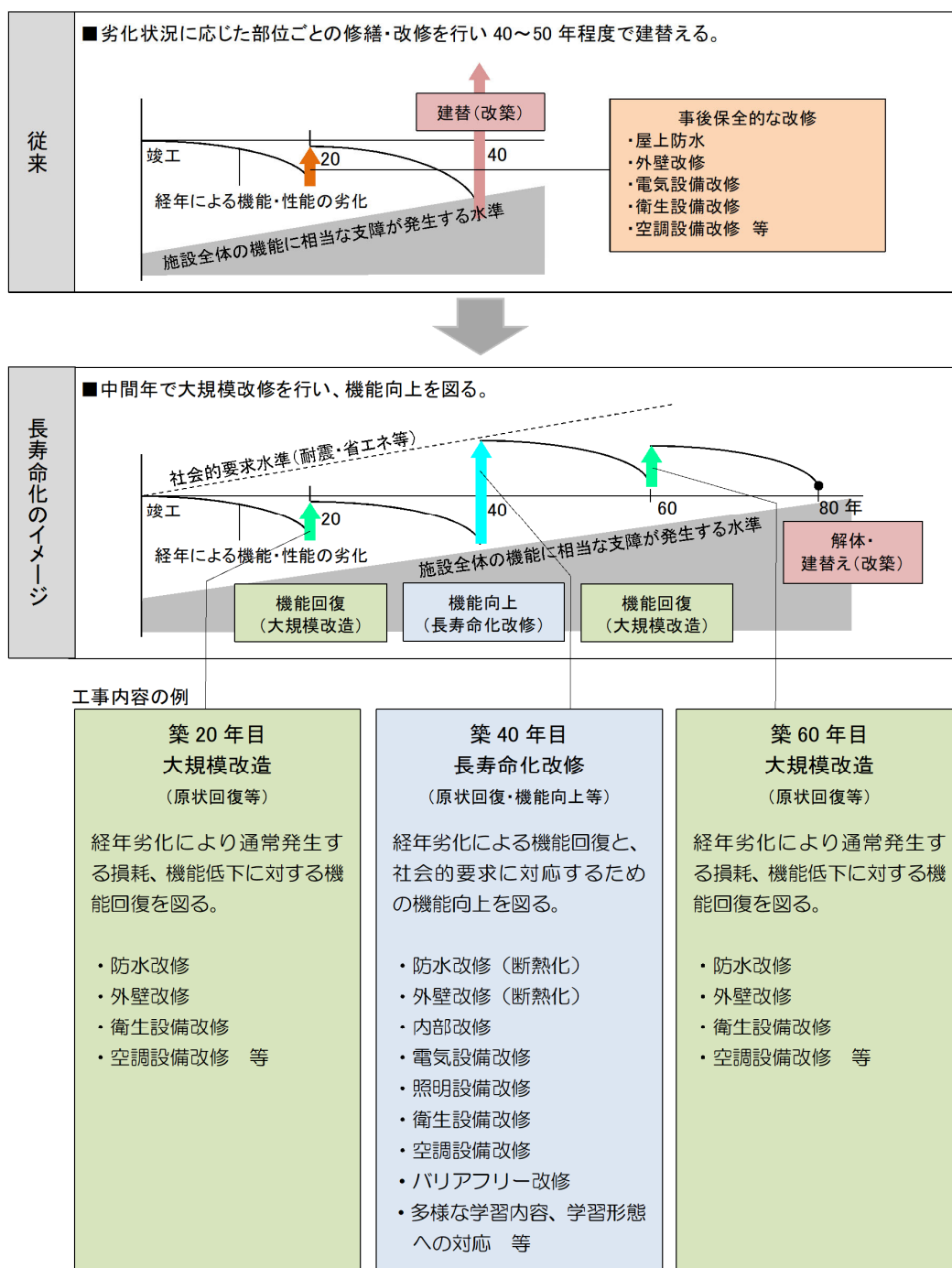
2 改修等の基本的な方針

(1) 長寿命化の基本的な考え方

建築物は、経年により劣化するとともに、耐震性能や省エネ性能等の社会的要求の高まりへの対応も求められます。

そこで、部位の更新時期に合わせた修繕を行うとともに、目標耐用年数の中間年で長寿命化改修を行い、経年劣化による機能回復と社会的要求に対応するための機能向上を図ることで、建築物に求められる性能が維持できる状態とします。

<長寿命化のイメージ（竣工後 80 年まで使用する場合）>



資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」

(2) 目標使用年数の設定

学校施設の長寿命化の目標として、施設使用の計画期間である「目標使用年数」を設定します。

目標使用年数は「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考とし、構造別に以下のように設定します。

- 鉄筋コンクリート造に関しては、耐久性の高低における「高品質」と「普通品質」の概ね中間値の年数を採用し 80 年とします。
- 鉄骨造に関しては、上記と同様の考え方にに基づき 80 年とします。

また、予防保全の考え方を取り入れた長寿命化を図っていくためには、建物を構成する主要な部位別に改修周期を設定する必要があることから、「建築物のライフサイクルコスト」を参考に、目安となる部位別の改修周期を設定します。

＜学校、官庁建物の望ましい目標耐用年数＞

種別	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造		
	代表値	範囲	下限値
高品質の場合	100 年	80 年～120 年	80 年
普通品質の場合	60 年	50 年～80 年	50 年

資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

＜目標使用年数の設定＞

目標使用年数	大規模改造(原状回復等)	長寿命化改修(機能向上)
80 年	周期 20 年	周期 40 年

＜目安となる部位別の改修周期＞

項目		目安となる周期
建築	屋上防水・屋根	20～30 年
	外壁	15～20 年
	内装	20～30 年
電気	受変電設備	25～30 年
	電気設備一般	20～25 年
	防災設備	20 年
機械	空調・換気設備	15～30 年
	給排水・衛生設備	10～30 年
	消火設備	20～30 年
	昇降機設備	30 年

資料：建築物のライフサイクルコスト（建築物保全センター：国土交通省大臣官房長官部監修）

6章 基本方針を踏まえた施設整備の水準等

1 改修等の整備水準

各学校施設ともに、経過年数による建物の老朽化が進行しており、部材の経年劣化による剥離・落下や、構造体としての強度低下など、安全面への対応が必要となっています。また、建設当時は一般的な整備水準であった施設も、現代の学校教育において求められる性能を十分に満たすことが難しくなっています。

今後、学校施設の改修等整備を行う上では、以下に示す「安全面」「機能面」「環境面」での整備水準の考え方をもとに、改修等を実施します。

なお、学校再編に関する今後の検討状況も考慮した上で、学校施設ごとに効率的・効果的な整備内容を検討することとします。

＜整備水準の考え方＞

視点	整備水準	
	基本的な考え方	整備項目の例
安全面	○部材の経年劣化による剥離・落下、鉄筋の腐食やコンクリートの劣化による構造体としての強度の低下など、施設の安全性に関わる対策を優先的にを行います。 ○防犯や防災面での機能向上について、ニーズを踏まえ対策を検討します。	・屋上防水改修 ・外壁、庇等の劣化部の改修 ・手摺等の外部建具の改修 ・アスベスト対策 等
機能面	○老朽化したトイレの改修による衛生面の改善や、バリアフリー対応など、だれもが快適に過ごすことのできる学校環境づくりに配慮します。 ○学校教育におけるニーズの多様化に対応し、少人数指導やICTを活用した教育に適応した整備を目指します。	・トイレ改修（洋式化、乾式化） ・バリアフリー改修（段差解消、手摺設置等） ・空調換気、給排水管等の更新 ・多様な学習環境に対応した教室等整備 ・ICTを活用した教育のための整備（機器の導入・更新等） 等
環境面	○壁や窓の断熱化による冷暖房の効率化や、照明機器等の省エネルギー化による使用電力量の抑制など、環境面に配慮します。	・断熱性の向上（建具改修等） ・設備の高効率化（照明LED化等） 等

2 維持管理の項目・手法等

学校施設の長寿命化を図る上では、定期的に改修工事を行うだけでなく、日常的、定期的に施設の点検や保守を行い、異常を早期に発見することで、重大な障害の発生リスクを低減することが重要です。また、点検や保守の結果や履歴等の情報を適切に管理することにより、施設や設備の状態に応じて的確に改修等を実施することが可能となります。

維持管理においては、施設設置者（教育委員会）、施設管理者（学校）、専門技術や資格等を有する専門業者が連携して取り組みます。

<維持管理の項目と内容>

項目	内容	頻度	主な担当
日常点検	日常業務の中で、建物や設備について、異常の有無、兆候がないかを確認。 ※次ページに点検内容の例を掲載	毎日	施設管理者
自主点検	建物や設備の破損、劣化等の状況を網羅的に把握。修繕等の計画に反映。	施設等の状況に応じて頻度を設定（年1回など）	施設管理者 施設設置者
法定点検	法令で定められた箇所に関して、専門業者への委託による点検の実施。	法令で定められた頻度	専門業者
臨時点検	異常等の発生に伴う臨時的な点検。	故障の発生や警報等により随時実施	施設管理者 施設設置者 専門業者
清掃	快適な環境を維持しつつ、仕上材や機器の寿命を延ばすため、塵や汚れ等を除去する。	各点検に合わせて随時実施	施設管理者 専門業者
情報管理	点検結果の情報入力と整理、履歴情報の継続的な管理。	各点検や修繕後に実施	施設管理者 施設設置者

＜（参考）日常点検の内容＞

点検箇所	症状	危険性	留意点
天井	●天井ボードがはずれ、落ちかけている ●天井吊りのテレビモニターがグラつく ●天井にシミができた	●剥がれかかった天井ボード等は落下の危険性あり	●天井のシミは漏水などが考えられるので、専門家による調査が必要
内壁	●壁モルタルに亀裂が入った ●ボードが割れた ●トイレなどでタイルが割れた、剥がれた	●モルタル等が欠け落ちてくる可能性あり	●木製扉のささくれ、クギ等の突起物は怪我の原因となるため、措置が必要
床	●シートが剥がれた、摩耗した ●タイルが剥がれた、割れた ●階段の滑り止め金具がはずれた	●床の損傷は転倒など、怪我の原因になる	●放置すると損傷が広がることがあるため、応急措置が必要 ●床は濡れたままにすると剥がれ、割れ等の原因になるため、その都度ふき取ることが大切
外壁	●外壁、庇に亀裂が入った ●外壁のモルタルが落ちてきた ●鉄筋が露出している	●モルタルが落下する危険性があり、放置すると損傷の範囲が拡大	●児童生徒が近づかないようなバリケード設置する等の措置が必要 ●専門家による調査が必要
屋外遊具施設等	●屋外の鉄製の遊具施設にサビがでている ●国旗掲揚ポールの固定部分、根本が腐食している ●鉄棒等にグラつきがある	●鉄の腐食は進行が早く、突然倒壊する可能性あり	●遊具施設は直接雨風にさらされ、乱暴に扱われることがあるため、グラつかないか、ボルトが緩んでいないか等の点検が必要
屋外階段	●階段手すりがグラつく ●鉄骨階段にサビが発生した	●手すり踏み板などの傷みが著しい場合、緊急時に避難する際、転倒するなど支障となる	●手すりのサビ、グラツきの点検が必要 ●サビが進行しないうちに塗装の塗り替えを行うことが必要

資料：安全で快適な学校施設を維持するために（文部科学省）

7章 長寿命化の実施計画

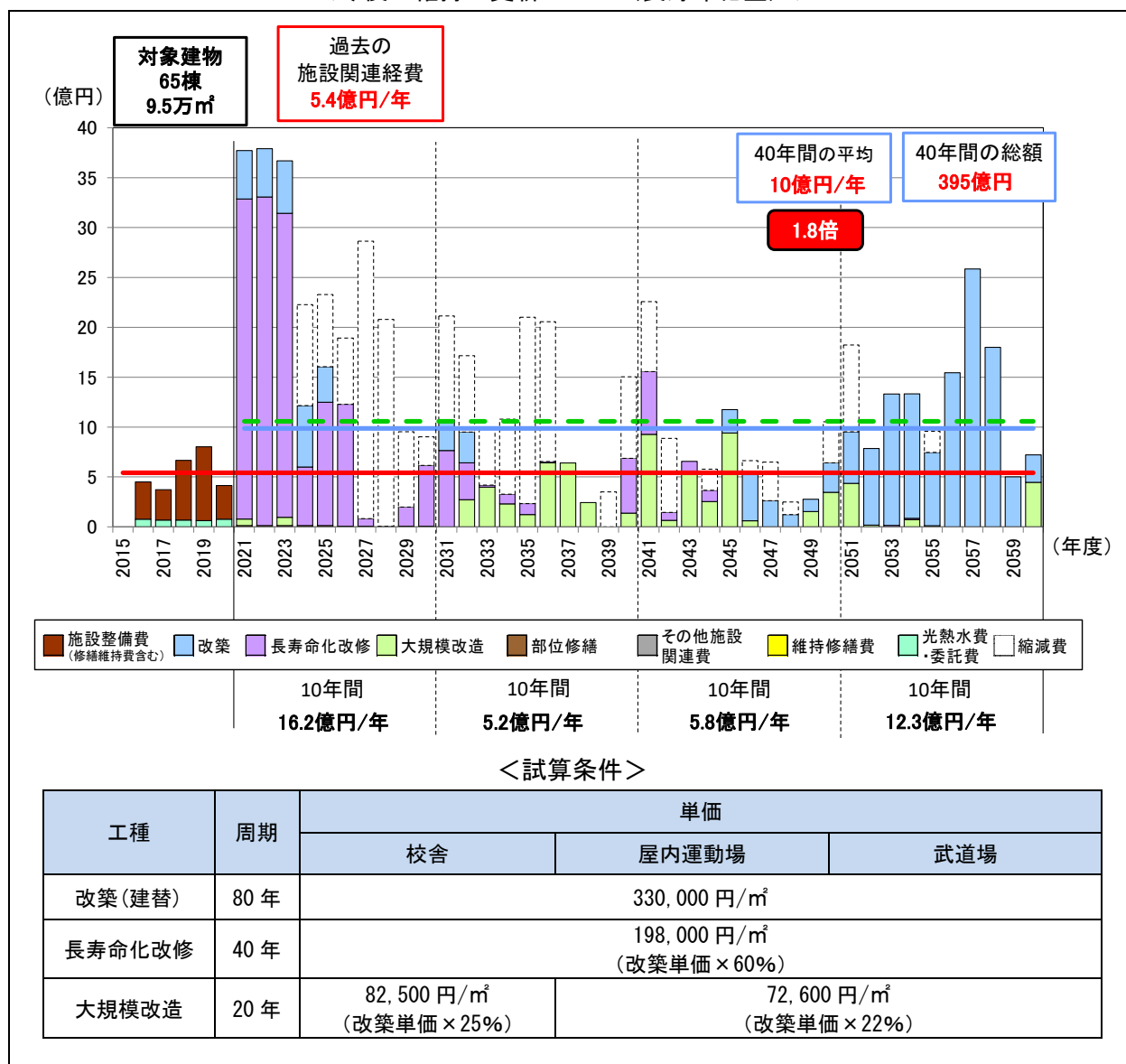
1 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

3章にて試算した従来型の維持・更新コスト（周期50年で改築）に対し、5章で設定した長寿命化による目標使用年数（80年）を基にした維持・更新コストを算出しました。

算出の手順としては、4章にて長寿命化が可能と判断した建物を対象に長寿命化対策を行うこととし、改修や改築等の費用について文科省解説書の付属ソフトを用いて試算すると、今後、40年間の維持・更新コストは総額で約397億円と試算されます。年間当たりのコストで比較すると、従来型の維持・更新コスト（年間約10.6億円）に対し、長寿命化型の場合には年間約10億円となり、一定のコスト削減効果が期待できます。

なお、削減効果はみられるものの、これまでの施設関連経費の支出規模からみると、財源確保が難しい状況であることに加え、学校再編に関する検討が継続中であることを踏まえ、優先順位をつけた上で、計画的に改修を行います。

<今後の維持・更新コスト（長寿命化型）>



資料：文科省解説書付属ソフト

2 改修等の優先順位づけと実施計画

(1) 優先順位の考え方

基本的な考え方として、長寿命化改修の周期（築後 40 年）を超える建物で、劣化の度合いが顕著であるものから順次整備を進めていきます。

学校施設のうち校舎と体育館、武道場に関しては、劣化状況評価においてD評価となった建物の対策を優先的に行うものとし、前半5年間に於いて、主にD評価の建物を対象とした長寿命化改修などを位置づけます。

C評価がある建物については、今後の劣化の進行状況を注視しつつ、学校再編の検討状況や財源の状況も踏まえながら、後半5年間または計画期間以降において必要な改修を実施する想定とします。

コンクリート圧縮強度が不足するなど長寿命化に適さないものについては、各学校での建物の利用ニーズや、学校再編の検討状況を踏まえ、建替えの必要性について検討します。

計画		期間	<計画期間>		<計画期間以降>	
		令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)				令和13年度(2031年度)～
		前半5年間		後半5年間		
長寿命化計画	長寿命化に適するもの	長寿命化改修等 (主にD評価の建物)		長寿命化改修等 (主にC評価の建物) ※ ※劣化の進行状況、学校再編の検討状況や財源の状況も踏まえて実施		
	長寿命化に適さないもの	建物の利用ニーズや、学校再編の検討状況を踏まえ、 建替えの必要性について検討				

(2) 今後 5 年間の実施計画

年度 事業名称	2021 (令和 3)	2022 (令和 4)	2023 (令和 5)	2024 (令和 6)	2025 (令和 7)
新增築事業					
改築事業					
長寿命化改修		旭ヶ丘小/校舎・体育館			
			玉手小/外壁・内壁		
				国分小	
大規模改造(老朽)				玉手中/校舎・体育館	
トイレ整備	玉手小	旭ヶ丘小	堅下小	堅下南小	堅上小
	堅下北小	国分中		堅下南中	堅上中
	堅下北中				
	玉手中				
空調整備	柏原中/体育館	体育館（各年度の対象校未定）			
	玉手中/体育館				
		柏原小/校舎			
		小学校/特別教室			
		中学校/特別教室			
部位修繕	柏原東小/体育館 ※屋根改修	柏原中/校舎 ※屋根改修			
		堅下北中/校舎 ※屋根改修			
		国分中/武道場			
		柏原小/校舎 ※屋根漏水			

8章 長寿命化計画の継続的運用指針

1 情報基盤の整備と活用

本計画をもとに、施設の保全、整備等を効率的かつ効果的に推進していくにあたり、施設の状態や過去の改修履歴などをデータとして蓄積し、継続的に更新することが必要です。

情報基盤の整理にあたって、次の情報を継続的に収集・管理し、施設の実態を把握することで、今後の改修内容や時期などを適切に判断するための基礎資料として活用します。

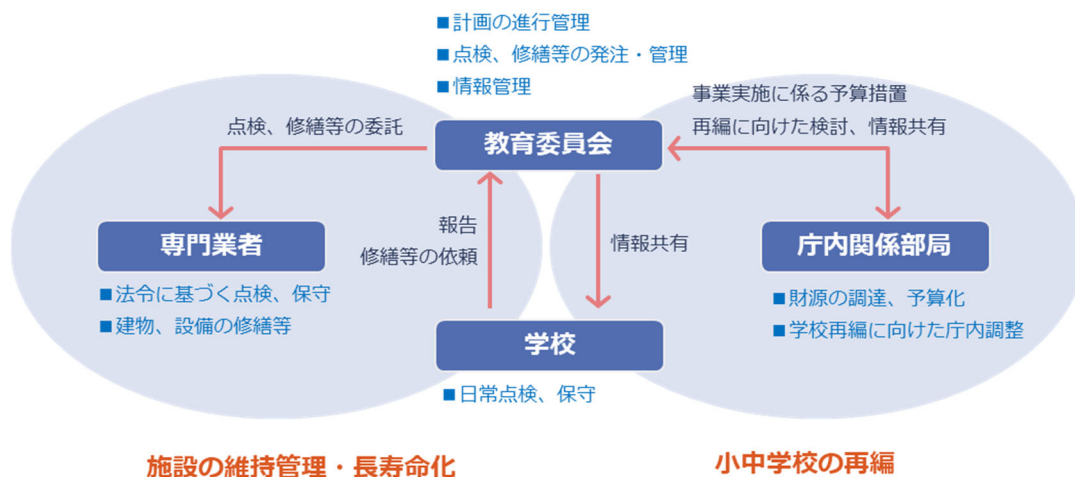
<情報基盤の内容>

情報基盤	内容等
学校施設台帳	学校施設の基本情報
各種定期・法定点検記録	点検時の指摘事項等
劣化状況調査結果、自主点検結果	施設の劣化状況、健全度の評価
その他	学校からの不具合事項の指摘、改善要望等

2 推進体制等の整備

本計画を継続的に運用していくためには、中長期的な小中学校の再編方針も踏まえつつ、学校ごとの改修方針の検討や、工事スケジュールの調整等を統一的な考え方のもとで進めていく必要があります。特に、学校再編のスケジュールとの調整に関しては、庁内関係部局と密接に情報を共有しつつ、計画の進行管理を行います。

<計画の推進体制>



3 フォローアップ

小中学校の再編に関する今後の検討状況を踏まえつつ、劣化等の状況や対策の緊急性に応じて事業計画を適宜精査するとともに、社会状況や学校教育環境に対するニーズの変化、本市全体の財政状況や他事業との優先順位などを踏まえ、本計画は必要に応じて見直しを行います。